

第 8 1 回 国民スポーツ大会・
第 2 6 回 全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会

第 1 回 宿泊・衛生専門委員会



令和 3 年 3 月 2 3 日 (火)

県庁防災庁舎防 5 2 ・ 5 3 号室

【 目 次 】

1 説明事項

- (1) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の概要
- (2) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会準備経過
- (3) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催年延期について
- (4) 宮崎県準備委員会決定事項【資料2】
- (5) その他
 - ・大会PRポスターについて

2 議 事

- (1) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
宿泊基本方針（案）
- (2) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
医事・衛生基本方針（案）

1 説明事項

説明事項（１）

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の概要

1 第 8 1 回国民スポーツ大会

(1) 大会の目的

広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするもの。

(2) 主 催

大 会：公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、宮崎県
各競技会：公益財団法人日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村

(3) 開催時期

令和 9 (2027) 年 9 月中旬～ 1 0 月中旬(11 日間以内)

(4) 実施競技

競技区分	競技名
正式競技 (37 競技)	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技 (1 競技)	高等学校野球（硬式・軟式）
公開競技 (7 競技)	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーション スポーツ (大会ごとに種目を決定)	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内に居住している者を対象として実施する競技 【参考】いきいき茨城ゆめ国体でのデモンストレーションスポーツ ウォーキング、パークゴルフ、スポーツウエルネス吹矢、ドッジボール、合気道、アームレスリング、ソフトバレーボールなど 3 1 競技を実施

(5) 競技会場地

別紙参照

(6) 先催大会での参加者数（開・閉会式及び全競技参加者を含めた数） 単位：人・延べ人数

回(開催年)	開催県	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
72(2017)	愛媛県	87,680	113,861	521,850	723,391
73(2018)	福井県	101,717	116,921	386,448	605,086
74(2019)	茨城県	94,411	125,380	551,397	771,188
平均		94,602	118,720	486,565	699,888

※ 大会関係者：大会役員、競技会役員、補助員、式典出演者、報道員、視察員等
※ 先催 3 県の開会式参加者数平均：約 26,000 人 閉会式参加者数平均：約 14,000 人

2 第26回全国障害者スポーツ大会

(1) 大会の目的（大会開催基準要綱より抜粋）

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与する。

(2) 主催

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、宮崎県及び市町村並びにその他の関係団体

(3) 開催時期

令和9(2027)年 ※国民スポーツ大会の直後を原則として3日間で開催する。

(4) 実施競技

競技区分		競技名
正式競技 (14 競技)	個人競技 (7 競技)	陸上競技 (身体・知的)、水泳 (身体・知的) アーチェリー (知的)、卓球 (身体・知的・精神) フライングディスク (身体・知的) ボウリング (知的)、ボッチャ (身体)
	団体競技 (7 競技)	バスケットボール (知的)、 車いすバスケットボール (身体) ソフトボール (知的)、グランドソフトボール (知的) バレーボール (身体・知的・精神) サッカー (知的)、フットベースボール (知的)
オープン競技 (大会ごとに種目を決定)		広く障がい者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技 【参考】いきいき茨城ゆめ大会でのオープン競技 スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー、ブラインドテニス、車いすダンスなど6競技

(5) 競技会場地

今年度から選定を進めていく。

(6) 先催大会での参加者数（開・閉会式及び全競技参加者を含めた数） 単位：人・延べ人数

回(開催年)	開催県	選手・監督	大会関係者	観覧者	合計
16(2016)	岩手県	25,507	30,705	32,195	88,407
17(2017)	愛媛県	22,858	36,445	33,846	93,149
18(2018)	福井県	24,201	32,473	42,939	99,613
平均		24,188	33,207	36,326	93,723

※ 2019年開催予定の第19回大会（茨城県開催）は台風接近のため中止

※ 先催3県の開会式参加者数平均：約21,000人 閉会式参加者数平均：約18,000人

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成27年 1月14日	公益財団法人宮崎県体育協会（以下「県体協」という。）臨時理事会及び評議員会において、「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致」を決議
2月12日	県体協が県、県議会及び県教育委員会に「平成38年第81回国民体育大会の宮崎県開催招致要望書」を提出
2月25日	知事が第4回県議会定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致」を表明
3月13日	第4回県議会定例会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を全会一致で議決
3月16日	定例教育委員会において、「平成38年第81回国民体育大会及び第26回全国障害者スポーツ大会の宮崎県開催招致に関する決議」を議決
4月17日	知事が文部科学省に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」と「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出 知事が公益財団法人日本体育協会（以下「日体協」という。）に「平成38年第81回国民体育大会開催要望書」を、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会に「平成38年第26回全国障害者スポーツ大会開催要望書」を提出
6月11日	日体協第1回国体委員会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出順序了解県」として承認
7月22日	日体協第3回理事会において、「平成38年第81回国民体育大会開催申請書提出県」として了解（宮崎県開催が内々定）
平成28年 4月 1日	宮崎県教育庁スポーツ振興課に国体準備担当を設置
平成29年 4月 1日	宮崎県教育庁に国体・高校総体準備室を設置
10月30日	第81回国民体育大会宮崎県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
11月14日	第1回総務企画専門委員会及び第1回施設整備専門委員会を開催
11月17日	第1回競技運営専門委員会を開催
12月14日	第1回市町村担当者会議及び第1回競技団体担当者会議を開催
平成30年 4月 1日	宮崎県総合政策部に国体準備課を設置
5月22日	第2回総務企画専門委員会を開催
7月 9日	第2回常任委員会及び第2回総会を開催
7月24日	第1回広報・県民運動専門委員会を開催
7月31日	第2回市町村担当者会議及び第2回競技団体担当者会議を開催
10月29日	第3回総務企画専門委員会を開催

年 月 日	内 容
12月19日	第2回競技運営専門委員会及び第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成31年 1月31日	第3回常任委員会を開催
2月 6日	第4回総務企画専門委員会を開催
3月15日	第3回市町村担当者会議及び第3回競技団体担当者会議を開催
4月 1日	国体準備課を国民スポーツ大会準備課に改称
令和元年 5月30日	第5回総務企画専門委員会を開催
7月 1日	第4回常任委員会及び第3回総会を開催 「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会」に改称
7月 9日	第3回広報・県民運動専門委員会を開催
8月 2日	第1回開催基本構想策定検討部会を開催
8月28日	第4回市町村担当者会議及び第4回競技団体担当者会議を開催
11月12日	第6回総務企画専門委員会を開催
12月16日	第1回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月17日	第2回開催基本構想策定検討部会を開催
12月20日	第5回市町村担当者会議及び第5回競技団体担当者会議を開催（合同開催）
令和2年 1月16日	第1回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
1月31日	第7回総務企画専門委員会を開催
2月 5日	第4回広報・県民運動専門委員会を開催
2月 7日	第3回開催基本構想策定検討部会を開催
2月17日	第5回常任委員会を開催
3月18日	第6回市町村担当者会議及び第6回競技団体担当者会議（資料配付のみ）
6月25日	第8回総務企画専門委員会を開催
6月25日	第2回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
7月 6日	第6回常任委員会を開催
7月29日	第2回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催（書面開催）
8月 7日	第4回総会を開催（書面開催）
8月20日	第7回市町村担当者会議を開催（テレビ会議）
8月24日	第7回競技団体担当者会議を開催
9月24日	第3回愛称・スローガン、マスコットキャラクター部会を開催
10月15日	日本スポーツ協会臨時国体委員会において、本県の国民スポーツ大会開催年が令和9年（2027年）に変更され、開催申請書提出順序了解県（内々定県）として再決定

年 月 日	内 容
11月 9日	第5回広報・県民運動専門委員会を開催
12月18日	第3回全国障害者スポーツ大会専門委員会を開催
12月23日	第1回輸送・交通専門委員会を開催
12月24日	第3回競技運営専門委員会を開催
令和3年 1月18日	第9回総務企画専門委員会を開催（書面開催）
2月 1日	第7回常任委員会を開催（書面開催）
3月18日	第6回広報・県民運動専門委員会を開催
3月22日	第8回市町村担当者会議を開催

説明事項（3）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の
開催年延期について

令和2年10月15日に開催された公益財団法人日本スポーツ協会令和2年度第2回臨時国民体育大会委員会において、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催年が令和8年（2026年）から令和9年（2027年）に変更された。

変更前			変更後		
開催年	回	開催県	開催年	回	開催県
令和2年(2020年)	75	鹿児島県(決定)	令和2年(2020年)	75	中止
令和3年(2021年)	76	三重県(〃)	令和3年(2021年)	76	三重県(決定)
令和4年(2022年)	77	栃木県(〃)	令和4年(2022年)	77	栃木県(〃)
令和5年(2023年)	78	佐賀県(内定)	令和5年(2023年)	特別	鹿児島県(〃)
令和6年(2024年)	79	滋賀県(〃)	令和6年(2024年)	78	佐賀県(〃)
令和7年(2025年)	80	青森県(内々定)	令和7年(2025年)	79	滋賀県(内定)
令和8年(2026年)	81	宮崎県(〃)	令和8年(2026年)	80	青森県(〃)
令和9年(2027年)	82	長野県(〃)	令和9年(2027年)	81	宮崎県(内々定)
令和10年(2028年)	83	群馬県(〃)	令和10年(2028年)	82	長野県(〃)
令和11年(2029年)	84	島根県(〃)	令和11年(2029年)	83	群馬県(〃)
令和12年(2030年)	85	未定	令和12年(2030年)	84	島根県(〃)
令和13年(2031年)	86	(奈良県・山梨	令和13年(2031年)	85	未定
令和14年(2032年)	87	県・沖縄県)	令和14年(2032年)	86	(奈良県・山梨
令和15年(2033年)	88	鳥取県	令和15年(2033年)	87	県・沖縄県)
令和16年(2034年)		—	令和16年(2034年)	88	鳥取県(内々定)

※ 「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」への改称は佐賀県大会からで変更なし。

※ 令和13年（2031年）以降の開催県は、今後、正式決定される見込み。

2 議 事

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本方針（案）

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「参加者」という。）の宿泊及び食事については、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の参加者がそれぞれの分野で十分な活躍できるよう、おもてなしの心で温かく迎えるとともに、宮崎の多彩な魅力を全国へ発信するため、次の方針に基づき実施する。

1 宿 舎

- (1) 参加者の宿舎は、原則として、会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。
- (2) 会場地市町村内の旅館で参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議の上、公共施設、民家等及び近隣市町村（原則として県内）の旅館等を利用する。
- (3) 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。

2 配 宿

- (1) 国スポにおける選手・監督及び競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は、競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し、会場地市町村が行う。ただし、近隣市町村（原則として県内）の旅館等に配宿する場合及び選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町村が協議して行う。障スポ参加者の配宿については、県が行う。
- (2) 大会の選手・監督の宿舎は、都道府県別、競技別、競技種別及び男女別を考慮して配宿する。
- (3) 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。
- (4) 障スポ参加者にとって、利用しやすい宿泊施設に配宿するよう努める。

3 宿泊料金

国スポ参加者の宿泊料金は、県準備（実行）委員会及び旅館等の関係団体との協議を経て、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

障スポ参加者の料金は、国スポ宿泊料金を基本とし、県準備（実行）委員会が決定する。

4 食 事

参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針（案）

第81回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第26回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者」という。）の医事・衛生については、関係機関・団体等の協力を得て、清潔で快適な環境の下で十分な活躍と観覧ができるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 医療救護

参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。

2 防疫

参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

3 食品衛生

参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、宿舎及び食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

4 環境衛生

参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等のもとより、広く国民の協力を得て、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策、動物の適正管理等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

5 馬事衛生

馬術競技出場馬の健康保持のため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。



第81回国民スポーツ大会 第26回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会



《県準備委員会決定事項》

- (1) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
開催準備総合計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
会場地市町村選定状況一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- (3) 各専門委員会方針等
- 【総務企画専門委員会】**
- [国スポ・障スポ] 会場地市町村選定基本方針・・・・・・・・ P 4
 - [国スポ・障スポ] 会場地市町村選定基準・・・・・・・・ P 5
 - [国スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針・・・・ P 7
 - [国スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担細目・・・・ P 8
 - [国スポ] 実施競技選択基本方針・・・・・・・・ P 20
 - [障スポ] 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針・・・・ P 21
 - [国スポ・障スポ] 開催基本構想・・・・・・・・ 別添
- 【競技運営専門委員会】**
- [国スポ・障スポ] 競技役員等編成基本方針・・・・・・・・ P 24
 - [国スポ・障スポ] 競技役員等養成基本方針・・・・・・・・ P 26
 - [国スポ] 競技役員等養成基本計画・・・・・・・・ P 27
 - [国スポ] 競技運営基本方針・・・・・・・・ P 29
 - [国スポ] 競技用具整備基本方針・・・・・・・・ P 30
 - [国スポ] 公開競技実施基本方針・・・・・・・・ P 31
 - [国スポ] デモンストラーションスポーツ実施基本方針・・・・ P 32
 - [国スポ] 審判員・要資格運営員養成計画・・・・・・・・ P 33
- 【施設整備専門委員会】**
- [国スポ] 競技施設整備基本方針・・・・・・・・ P 37
- 【広報・県民運動専門委員会】**
- [国スポ・障スポ] 広報基本方針・・・・・・・・ P 38
 - [国スポ・障スポ] 広報基本計画・・・・・・・・ P 39
 - [国スポ・障スポ] 県民運動基本方針・・・・・・・・ P 41
- 【輸送・交通専門委員会】**
- [国スポ・障スポ] 輸送・交通基本方針・・・・・・・・ P 42
- (4) 資料
- 県準備委員会会則・・・・・・・・ P 44
 - 開催基本方針・・・・・・・・ P 48
 - 県準備委員会委員等一覧・・・・・・・・ P 49
 - 県準備委員会構成図・・・・・・・・ P 50
 - 県準備委員会専門委員会規程・・・・・・・・ P 51

①	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	西暦	2017	2018	2019	2020	2021	
	逆年	(開催10年前)	(開催9年前)	(開催8年前)	(開催7年前)	(開催6年前)	
	国体開催県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県(中止)	三重県	
②	開催手続	開催内々定				県議会開催決議(R4.2)	
		開催要望書提出 (平成27年4月17日)			中央競技団体 正規視察		
③ 県準備委員会(実行委員会)	組織	準備委員会		国スポ・障スポ準備委員会			
		総会					
		常任委員会					
		総務企画専門委員会	広報・県民運動専門委員会	全国障害者スポーツ大会 専門委員会	宿泊・衛生専門委員会		
		競技運営専門委員会			輸送・交通専門委員会		
		施設整備専門委員会			式典専門委員会		
		必要に応じて各専門委員会内に部会を					
	全体計画		開催基本方針等		開催基本構想策定		
			開催準備総合計画		開催準備総合計画(2次)	開催準備総合計画(3次)	
	総務企画	会場地選定 経費負担	会場地市町村選定基本方針	【国スポ】正式競技、特別競技、公開競技、 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)			開・閉会
			会場地市町村選定基準				
			県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担細目			
				競技団体及び市町村への意向調査・ヒアリング			
		文化プログラム					
	行幸啓関係						
総合案内							
募金・協賛					募金・企業協賛基本方針		
競技運営	競技運営	競技役員等養成基本計画	競技役員等養成事業				
		競技役員等編成基本方針	公開競技実施基本方針				
		競技役員等養成基本方針	競技運営基本方針	デモンストレーション スポーツ実施基本方針	デモンストレーションスポーツ 実施競技・会場地選定		
競技用具		競技用具整備基本方針		競技用具整備要項	競技用具整備計画		
施設整備	競技・式典 会場	競技施設整備基本方針	競技施設基準			競技施設整備計画	
			競技施設整備調査				
情報通信							
広報 県民運動	広報	広報基本方針・基本計画				広報	
		マスコットキャラクター、愛称・スローガン募集・決定					
	県民運動		県民運動基本方針	県民運動基本計画			
全国障害者スポーツ大会	競技運営			会場選定の 進め方	正式競技(会場選定)		
		大会に向けた課題の整理					
宿泊 衛生	宿泊			宿泊基本方針	宿泊基本計画		
	医事・衛生			医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画		
輸送 交通	輸送・交通			輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画		
式典	式典 会場			式典基本方針	式典基本構想		
警備 消防 防災	警備・消防						
④ 準備 組織等	市町村	市町村担当者会議					
	競技団体	競技団体担当者会議	競技運営計画・ 競技役員等養成計画の作成				

国障害者スポーツ大会開催準備総合計画改正

令和4年度 2022 (開催5年前) 栃木県	令和5年度 2023 (開催4年前) [特別大会] 鹿児島県	令和6年度 2024 (開催3年前) 佐賀県	令和7年度 2025 (開催2年前) 滋賀県	令和8年度 2026 (開催1年前) 青森県	令和9年度 2027 (開催年) 宮崎県
開催内定		開催決定・会期決定		国スポリハーサル大会	障スポリハーサル大会
開催申請書提出 (文部科学省・日スポ協)		文部科学省・日スポ協 総合視察 実行委員会			
警備・消防・防災専門委員会					
を設置					
		開催準備総合計画(4次)			大会報告書
【障スポ】正式競技 会式 会場地市町村選定(数次)					
文化プログラム基本方針	文化プログラム事業募集等(実施要項、募集、登録等)				文化プログラムの実施
		警衛基本方針・基本計画	警衛等実施計画、日程等調整		日程最終調整
		総合案内基本方針	総合案内準備の推進		総合案内
募金基本計画	募金活動の推進				
	企業協賛基本計画	企業協賛活動の推進			
記録業務基本方針	リハーサル大会 開催基準要綱	記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱	競技役員等編成	総監督会議
		競技日程決定	リハーサル大会実施本部		記録本部
		競技用具整備の推進			総合・競技別 プログラム
	競技施設及び式典会場整備の推進				
	情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整		情報通信本部
PR活動の推進(ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等)	イメージソング等				
開催内定イベント		開催決定イベント	開催1年前イベント		全国報道者会議
					報道本部
県民運動の推進(各種媒体の作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体の支援など)	ボランティア(大会運営等)の募集・養成				
オープン競技実施基本方針	オープン競技 実施競技・会場選定		競技用具整備		大会実施本部
	競技役員等(障スポ特有種目)の養成・ボランティア(情報支援、選手団サポート)募集・養成等				
宿泊施設等実態調査			宿泊要項		宿泊本部
	宿泊準備の推進(総合配宿計画、広域配宿及び民泊基本計画、宿泊料金等)				
		標準献立作成基本方針	標準献立普及実施要領	標準献立普及講習	
	医事・衛生対策各種要項	医療救護要項			救護本部・救護所
	医事・衛生準備の推進(食品衛生、環境衛生、馬事衛生、防疫対策等)				馬事衛生対策本部
輸送・交通基礎調査	輸送・交通総合調査				
輸送・交通業務指針		全国輸送計画・会場地輸送調整			
			開・閉会式輸送実施計画		輸送本部
			交通規制計画		
式典基本計画	式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハーサル等)				式典本部
		会場管理基本方針	会場管理基本計画	会場管理体制の整備	
警備・消防防災基本方針	警備・消防防災基本計画				警備本部
	警備・消防・防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)				消防・防災本部
会場地市町村国スポ・障スポ 準備委員会(随時設置)		会場地市町村国スポ・障スポ実行委員会			市町村競技会実施本部
競技役員等養成の推進					

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定状況一覧【市町村別】

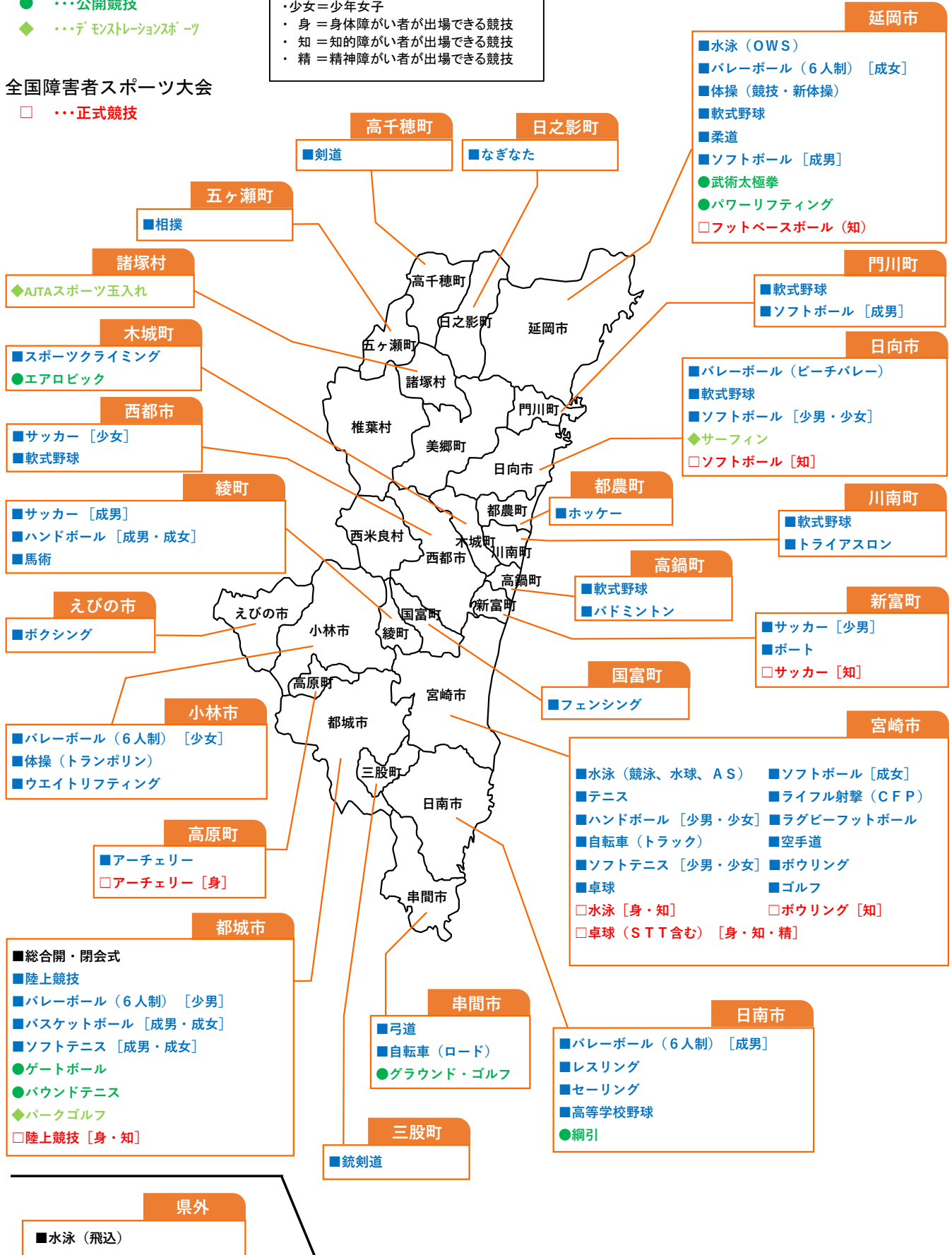
国民スポーツ大会

- …正式競技、特別競技
- …公開競技
- ◆ …デモンストレーションスポーツ

全国障害者スポーツ大会

- …正式競技

・成男＝成年男子
 ・成女＝成年女子
 ・少男＝少年男子
 ・少女＝少年女子
 ・身＝身体障がい者が出場できる競技
 ・知＝知的障がい者が出場できる競技
 ・精＝精神障がい者が出場できる競技



第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会における会場地は、地方スポーツの普及・振興と地方文化の発展に寄与することを目的とする国民スポーツ大会の趣旨及び第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次のとおり選定する。

- 1 会場地は、県内それぞれの地域に根ざしたスポーツ文化活動の振興を図るため、地域バランスに配慮して、可能な限り県内各地に分散する。
- 2 同一競技は、同一市町村で行うことを原則とするが、2 市町村以上で開催する場合は可能な限り近隣市町村で行う。
- 3 会場地の選定に当たっては、市町村における開催希望、当該希望競技に係る各種競技会の開催実績、開催準備、大会運営、実施競技団体の意向、競技施設の状況、宿泊受入能力、交通の利便性、その他地域振興等を考慮し、総合的に判断する。
- 4 全国障害者スポーツ大会の競技会場については、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱に基づき、原則として第 8 1 回国民スポーツ大会の会場を使用するものとする。
- 5 全国障害者スポーツ大会の会場地は、選手等の負担軽減の観点を考慮する。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 会場地市町村選定基準

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）における会場地市町村は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次により選定する。

1 選定の対象

正式競技と特別競技の会場地市町村とする。

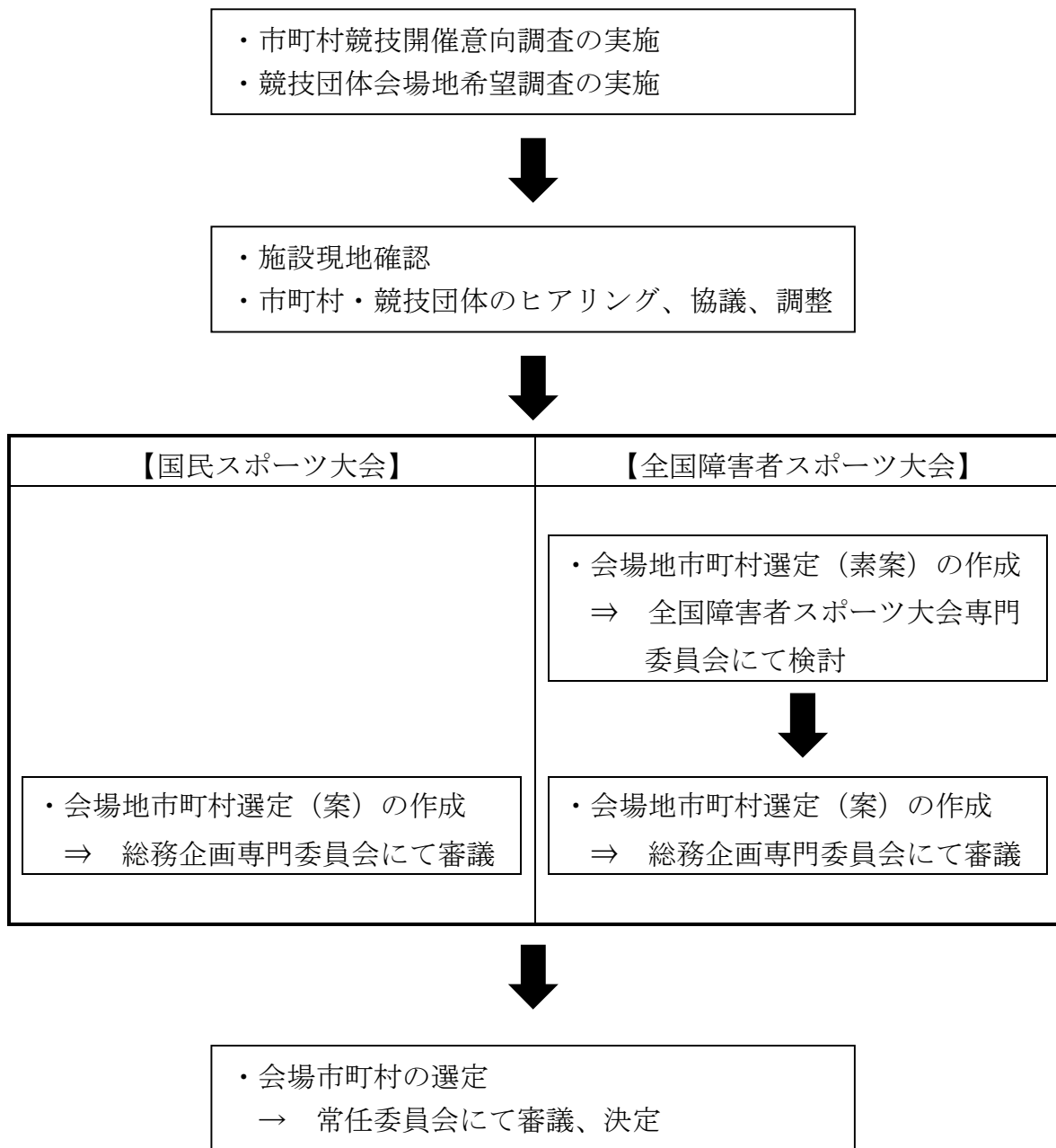
なお、公開競技、デモンストレーションスポーツ、全国障害者スポーツ大会のオープン競技については、別途選定する。

2 選定の基準

次の基準により、総合的な判断、評価のもとに選定する。

- (1) 施設所有者の同意を前提として、市町村の開催希望と競技団体の意向が原則として合致していること。
- (2) 同一競技を複数の市町村に分けて実施する場合は、大会運営に支障をきたさないこと。
- (3) 競技施設は、「国民体育大会開催基準要項細則（公益財団法人日本スポーツ協会）」で定める施設基準（以下「施設基準」という。）を踏まえ、施設の新設・改修等に当たっては、大会開催後の地域スポーツ振興への有効的な活用を考慮すること。
なお、施設の状況等によっては、施設基準の弾力的な運用を関係機関に対し要請する。
- (4) 競技役員等の確保、付帯施設（観客席、駐車場、練習会場等）の整備、各種競技会の開催実績、地域住民ボランティアとしての参画など大会運営に必要な環境や体制が十分整えられること。
- (5) 選手・役員への輸送及び交通手段並びに宿舎を確保できること。

[参考] 選定の手続き (概要)



第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の開催に当たり、県及び会場地市町村は、次の基本方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

1 県が分担する業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な総合調整、連絡及び指導に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備・運営に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる県有施設・設備の整備に関する業務を分担し、経費を負担する。

2 会場地市町村が分担する業務と負担する経費

- (1) 競技会の会場地として必要な業務の計画策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な調査、連絡及び調整に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (2) 競技会の表彰式の実施及び競技会実施本部の運営等、競技会実施の準備・運営に関する業務を分担し、経費を負担する。
- (3) 競技会場及び練習会場となる市町村有の施設・設備の整備に関する業務を分担し、経費を負担する。

3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担、経費負担の細目については、別に定める。

第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担細目

「第 8 1 回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針」に基づき、業務分担・経費負担の細目を次のとおり定める。

- 1 県及び会場地市町村の業務分担の細目は、別表のとおりとする。
- 2 県及び会場地市町村の経費負担の細目は、それぞれ業務分担の細目による業務に必要な経費とする。
- 3 この細目に定めのない事項で必要なものについては、県と会場地市町村が協議の上、決定する。

1 総務企画

(1) 総務関係

細 目	県	会 場 地 市 町 村
総合計画	1 開催基本方針の決定 2 開催準備総合計画の策定 3 開催基本構想の策定	1 会場地市町村における開催準備計画の策定
準備（実行）委員会	1 県準備（実行）委員会の設置及び運営 2 県準備（実行）委員会事務局の運営 3 会場地市町村準備（実行）委員会の設置に関する助言	1 会場地市町村準備（実行）委員会の設置及び運営 2 会場地市町村準備（実行）委員会事務局の運営
会場地選定	1 会場地市町村選定基本方針の決定 2 会場地市町村選定基準の作成 3 開・閉会式会場及び会場地市町村の選定	1 競技会場及び練習会場等の調査
実施本部	1 大会実施本部の設置及び運営	1 競技会実施本部の設置及び運営
文部科学省、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）、中央競技団体等との連絡調整	1 文部科学省、日本スポーツ協会及び中央競技団体等との連絡調整 2 中央競技団体正規視察の連絡調整 3 文部科学省、日本スポーツ協会総合視察の連絡調整 4 日本スポーツ協会に対する承認事項の協議及び報告事項の調整	1 関係中央競技団体との連絡調整 2 関係中央競技団体正規視察に対する資料作成及び対応 3 文部科学省、日本スポーツ協会総合視察に対する資料作成及び対応
県内関係機関・団体等との連絡調整	1 市町村との連絡調整 2 県体育協会及び県競技団体との連絡調整	1 県との連絡調整 2 市町村体育協会及び関係県競技団体との連絡調整 3 関係会場地市町村との連絡調整
関係機関・団体等に対する協力要請	1 関係機関・団体等に対する協力要請計画の策定及び連絡調整 2 関係機関・団体等への協力要請	1 会場地市町村における関係機関・団体等に対する協力要請及び連絡調整
大会役員等	1 大会役員及び競技会役員の編成基準の作成 2 大会役員、大会係員及び大会補助員の編成並びに委嘱 3 大会役員、大会係員及び大会補助員の委嘱状、案内状、礼状等の作成並びに配布 4 大会係員等の必携の作成及び配布	1 競技会役員の編成並びに委嘱 2 競技会役員の委嘱状、案内状、礼状等の作成並びに配布
招待者等	1 大会招待者及び競技会招待者の範囲の決定	1 競技会招待者の範囲案の作成 2 競技会招待者名簿の作成

	<ul style="list-style-type: none"> 2 大会招待者名簿の作成 3 招待券及び視察員証の発行 4 大会招待者の招待及び接遇 	<ul style="list-style-type: none"> 3 会場地市町村関係招待券の配布 4 競技会招待者の招待及び接遇
参加章等	<ul style="list-style-type: none"> 1 参加章、記念章の意匠決定及び取扱要項の作成 2 参加章、記念章、視察員章及び報道員章の作成並びに配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会関係者に対する参加章等の配布 2 競技会記念章等の作成及び配布
服飾	<ul style="list-style-type: none"> 1 大会役員、大会係員、大会補助員及び報道員の服飾の調製並びに配布 2 開・閉会式に参加する競技役員の服飾の調製及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会役員、競技会係員及び競技会補助員の服飾の調製並びに配布 2 競技役員及び競技補助員の服飾の調製並びに配布
報告書等	<ul style="list-style-type: none"> 1 県準備概要等の作成及び配布 2 大会報告書の作成及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 市町村準備概要の作成及び配布 2 競技会報告書の作成及び配布 3 大会報告書の作成資料の提供及び協力
開催申請	<ul style="list-style-type: none"> 1 開催申請書の作成及び提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 開催申請書の作成協力
各種全国会議	<ul style="list-style-type: none"> 1 全国代表者会議、総監督会議及び全国報道者会議等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別監督会議の開催
自衛隊協力要請等	<ul style="list-style-type: none"> 1 自衛隊協力要請計画の策定 2 自衛隊との協議及び協力協定の締結 3 自衛隊協力に対する業務計画策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 自衛隊協力に対する業務計画の策定 2 競技会の自衛隊協力の受入れ

(2) 財務関係

細目	県	会場地市町村
予算編成等	<ul style="list-style-type: none"> 1 大会関係予算の編成、執行及び決算 2 大会開催に関する予算の編成及び決算 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における国スポ予算の編成、執行及び決算 2 大会開催に関する予算編成の協力
国スポ募金・企業協賛	<ul style="list-style-type: none"> 1 国スポ募金・企業協賛推進基本方針の決定及び計画の策定 2 国スポ募金・企業協賛の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 1 県が実施する国スポ募金・企業協賛への協力
入場料・入場券	<ul style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式及び競技会入場料金の決定 2 開・閉会式入場券の作成及び販売 3 競技会入場券販売の協力 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会入場料金案の作成 2 競技会入場券の作成及び販売 3 開・閉会式入場券販売の協力
プログラム販売	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合プログラムの販売 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別プログラムの販売
売店	<ul style="list-style-type: none"> 1 売店設置要項の作成 2 開・閉会式会場地内の売店設置に関する指導及び規制 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会場地内の売店設置に関する指導及び規制
標章等	<ul style="list-style-type: none"> 1 標章等の使用規程の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 標章等の使用許可申請に関する指導

	2 標章等の使用許可申請の受付及び許可	
--	---------------------	--

(3) 文化プログラム関係

細目	県	会場地市町村
文化プログラム	1 文化プログラム基本方針の決定及び実施計画の策定 2 文化プログラム実施事業の選定 3 県における文化プログラム事業の企画及び実施 4 広報リーフレット、ポスターの作成及び配布	1 会場地市町村における文化プログラム実施計画の策定 2 会場地市町村における文化プログラム事業の企画及び実施

(4) 行幸啓関係

細目	県	会場地市町村
行幸啓	1 行幸啓本部の設置及び運営 2 行幸啓計画の策定 3 接伴計画の策定及び接伴の実施 4 御泊所、御休憩所、御座所等の整備及び指導 5 宮内庁、日本スポーツ協会及び市町村等関係機関との連絡調整 6 行幸啓記録の編さん 7 行幸啓に関する報道についての連絡調整 8 警衛基本方針の決定及び計画等の策定 9 警衛本部の設置及び運営	1 行幸啓計画策定資料の提出 2 会場地市町村における接伴計画の策定及び接伴の実施 3 会場地市町村における御休憩所、御座所等の整備

(5) 歓迎・案内関係

細目	県	会場地市町村
接伴・接遇	1 総合案内基本方針の決定 2 開・閉会式における大会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画の策定及び実施 3 会場地市町村における競技会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画策定に関する助言 4 総合案内所及び開・閉会式会場における休憩所の設置及び運営 5 接伴員の手引きの作成及び配布	1 会場地市町村における競技会役員、選手団、視察員等に対する接伴計画の策定及び実施 2 総合案内所及び開・閉会式会場における休憩所運営の協力 3 会場地市町村における案内所・休憩所の設置及び運営 4 会場地市町村における接伴員及び案内所員の編成並びに研修会の実施

	6 開・閉会式における接伴員及び案内所員の編成並びに研修会の実施	
歓迎装飾	1 歓迎装飾基本計画の策定 2 開・閉会式会場内外の歓迎装飾の設置等	1 会場地市町村における歓迎装飾の設置等
観光紹介等	1 県内観光地及び物産等の紹介 2 観光ガイドブック等の作成及び配布 3 特産品、土産品の紹介及び販売指導	1 会場地市町村における観光地及び物産等の紹介 2 会場地市町村の観光ガイドブック等の作成及び配布 3 会場地市町村の特産品、土産品の紹介及び販売指導
資料袋	1 資料袋の作成及び配布	1 会場地市町村における資料袋の配布

2 競技施設

(1) 競技・式典会場関係

細目	県	会場地市町村
競技施設等	1 競技施設整備基本方針の決定 2 競技施設整備計画の策定 3 競技施設基準の策定 4 競技会場及び練習会場の選定 5 競技会場及び練習会場となる県有施設の整備計画の策定並びに整備 6 開・閉会式会場の仮設施設の整備	1 競技会場及び練習会場の選定協力 2 競技会場及び練習会場となる市町村有施設の整備計画の策定並びに整備 3 競技会場及び練習会場の仮設施設の整備 4 競技会場及び練習会場となる民間施設等の連絡調整
駐車場	1 開・閉会式のための駐車場の確保 2 競技会場のための駐車場の確保の協力	1 競技会場のための駐車場の確保 2 開・閉会式のための駐車場の確保の協力
施設概要	1 施設概要の作成及び配布	1 施設概要の作成資料の提供
会場管理	1 開・閉会式会場管理基本方針の決定及び計画の策定 2 開・閉会式会場内外の装飾、案内標識等の設置及び環境整備 3 開・閉会式会場の運営及び管理 4 開・閉会式会場美化計画の策定及び実施	1 競技会場管理計画の策定 2 競技会場内外の装飾、案内標識等の設置及び環境整備 3 競技会場の運営及び管理 4 競技会場美化計画の策定及び実施

(2) 情報通信関係

細目	県	会場地市町村
情報通信計画	1 情報通信基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における情報通信計画	1 会場地市町村における情報通信計画の策定

	策定に関する助言 3 情報通信関係機関との連絡調整	
情報通信施設の架設・運営	1 開・閉会式に必要な情報通信施設架設計画の策定 2 開・閉会式に必要な情報通信施設の架設及び運営 3 県記録本部と競技会場間の情報通信施設の架設及び運営 4 総合案内所の情報通信施設の架設及び運営	1 会場地市町村における情報通信施設架設計画の策定 2 会場地市町村における情報通信施設の架設及び運営

3 競技運営

細目	県	会場地市町村
実施要項等	1 大会実施要項の作成及び配布 2 競技別実施要項の作成に関する助言	1 競技別実施要項の作成及び配布
参加申込	1 参加申込書の作成及び配布 2 参加申込書の受付、整理及び会場地市町村との連絡調整	1 競技別参加申込書の受付、整理及び県との連絡調整
競技運営	1 実施競技選択基本方針の決定 2 競技運営基本方針の決定 3 競技運営の総括、連絡調整及び助言	1 競技運営計画の策定 2 競技の運営
競技役員等	1 競技役員等編成基本方針の決定 2 競技役員等養成基本方針の決定及び計画の策定 3 競技役員及び競技補助員の編成並びに養成 4 競技役員等必携の作成に関する助言 5 県外競技役員数の決定及び旅費基準の作成	1 競技役員及び競技補助員の編成原案の作成 2 競技役員及び競技補助員の養成への協力 3 競技会係員及び競技会補助員の編成並びに養成 4 競技役員、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の委嘱状、礼状等の作成並びに配布 5 競技役員等の必携の作成及び配布
プログラム	1 総合プログラム・競技別プログラム編成方針の決定 2 総合プログラムの作成及び配布 3 競技別日程表及び競技組合せ一覧表の作成並びに配布 4 競技別プログラムの作成に関する助言	1 競技別プログラムの作成及び配布 2 総合プログラム、競技別日程表及び競技組合せ一覧表の作成協力
競技記録	1 競技記録本部の設置及び運営 2 記録業務基本方針の決定及び計画の策定	1 競技記録本部への情報通信体制の整備 2 競技別記録の収集及び速報

	<ul style="list-style-type: none"> 3 競技記録の収集速報計画の策定 4 競技記録の収集・整理及び発表 5 記録本部員、補助員の編成及び養成 6 記録係員必携の作成に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 3 会場地市町村における記録係員、補助員の編成及び養成 4 記録係員必携の作成
総合成績	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合成績の得点計算及び順位決定 2 総合成績計算係員及び補助員の養成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別成績の得点計算及び順位決定並びに競技記録本部への報告 2 競技別成績計算係員及び補助員の養成
表彰状等	<ul style="list-style-type: none"> 1 総合成績に係る表彰状作成及び交付 2 競技別表彰状、賞状の作成及び配布 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別表彰状、賞状の交付
競技別リハーサル大会	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別リハーサル大会開催基準要項の策定 2 競技別リハーサル大会の開催に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技別リハーサル大会実施計画の策定 2 競技別リハーサル大会の実施
公開競技	<ul style="list-style-type: none"> 1 公開競技実施基本方針の決定 2 公開競技の選定 3 公開競技開催申請書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 公開競技の実施
デモンストレーションスポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 1 デモンストレーションスポーツ実施基本方針の決定 2 デモンストレーションスポーツの選定 3 デモンストレーションスポーツ実施申請書の提出 	<ul style="list-style-type: none"> 1 デモンストレーションスポーツの実施計画の策定 2 デモンストレーションスポーツの実施
競技用具等	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技用具整備基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における競技用具整備計画等の策定に関する助言 3 競技用具の規格、数量調査及び基礎調査の実施 4 競技会場及び練習会場となる県有施設の競技用備品の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における競技用具整備計画等の策定 2 競技用具の基礎調査に関する協力 3 競技会場及び練習会場となる市町村有施設の競技用備品の整備 4 競技会場及び練習会場となる施設の競技用消耗品、運営用備品並びに運営用消耗品の整備

4 広報・県民運動

(1) 広報関係

細目	県	会場地市町村
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> 1 広報基本方針の決定及び計画の策定 2 大会愛称、スローガン、マスコット等の決定及び普及 3 ポスター、ガイドブック、リーフレット等各種広報媒体物の作成及び管理 4 広告塔等宣伝工作物の設置及び管理 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における広報計画の策定 2 大会愛称、スローガン、マスコット等の普及 3 県発行各種広報媒体物の配布協力 4 会場地市町村における各種広報媒体

	<ul style="list-style-type: none"> 5 インターネット、新聞、テレビ、ラジオ等による広告の実施 6 イメージソング等の制定及び普及 	<ul style="list-style-type: none"> 物の作成及び管理 5 会場地市町村における各種宣伝工作物の設置及び管理 6 会場地市町村におけるインターネット、新聞、テレビ、ラジオ等による広告の実施 7 イメージソング等の普及
報道対応	<ul style="list-style-type: none"> 1 報道機関との連絡調整 2 開・閉会式等における報道機関の取材活動に対する協力 3 報道員ハンドブックの作成及び配布 4 航空規制計画の策定及び実施 5 報道本部の設置及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における報道機関との連絡調整 2 会場地市町村における報道機関の取材活動に対する協力
記録映像等	<ul style="list-style-type: none"> 1 記録映像等の作成及び管理 2 大会記録写真の撮影及び記念写真集の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技等記録映像撮影及び撮影の協力 2 競技会記録写真の撮影 3 記録写真集作成の協力
記念行事	<ul style="list-style-type: none"> 1 県記念行事の計画策定及び実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における記念行事の計画策定及び実施

(2) 県民運動関係

細目	県	会場地市町村
県民運動	<ul style="list-style-type: none"> 1 県民運動基本方針の決定及び計画の策定 2 全県的な県民運動の推進 3 県民運動推進のための各種媒体物の作成及び配布 4 県民運動実践団体の育成及び助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における県民運動推進計画の策定 2 会場地市町村における県民運動の推進 3 会場地市町村における県民運動推進のための各種媒体物の作成及び配布 4 会場地市町村における県民運動実践団体の育成及び助言
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式等の運営に係るボランティアの募集及び養成 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会等の運営に係るボランティアの募集及び養成

5 式典

細目	県	会場地市町村
開・閉会式等	<ul style="list-style-type: none"> 1 式典基本方針の決定及び計画の策定 2 式典基本構想の策定 3 開・閉会式運営要項の作成 4 開・閉会式進行計画の策定 5 係員編成計画の策定及び係員の編成 6 開・閉会式の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 競技会表彰式実施要項の作成及び実施 2 競技会表彰式進行計画の策定 3 開・閉会式の実施協力

式典演技	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典演技基本計画の策定及び実施要項の作成並びに実施 式典演技出演者の編成及び養成 式典演技の手具及び用具等の整備並びに服飾等の調製 	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典演技の実施の協力 式典演技出演者の編成及び養成への協力
式典音楽	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典音楽基本計画の策定及び実施要項の作成並びに実施 開・閉会式における式典音楽隊、合唱隊の編成及び養成 開・閉会式における式典音楽隊の楽器の整備及び服飾等の調製 	<ol style="list-style-type: none"> 競技会表彰式における式典音楽計画の策定及び式典演奏の実施 競技会表彰式における式典音楽隊の編成及び養成 競技会表彰式における式典音楽隊の楽器の整備及び服飾等の調製 開・閉会式における式典音楽隊の楽器の整備に関する協力
式典放送	<ol style="list-style-type: none"> 開・閉会式における式典放送計画の策定及び実施 開・閉会式会場内の臨時放送施設の整備 開・閉会式式典アナウンサー等放送係員の選定及び養成 	<ol style="list-style-type: none"> 競技会場内放送計画の策定及び実施 競技会場内の臨時放送施設の整備 会場地市町村におけるアナウンサー等放送係員の選定及び養成
大会旗・ 炬火リレー	<ol style="list-style-type: none"> 大会旗・炬火リレー基本計画の策定 大会旗・炬火リレーの用具等の整備及び服飾等の調製 採火式、出発式、集火式の企画及び実施 大会旗・炬火リレーポスター、プログラム等の作成及び配布 大会旗・炬火リレーリハーサルの実施 	<ol style="list-style-type: none"> 大会旗・炬火リレー基本計画の策定に関する協力 会場市町村における歓迎式等の企画及び実施 管内リレー走者の編成 大会旗・炬火リレーリハーサル及び管内練習の実施 管内大会旗・炬火リレーの実施

6 宿泊・衛生

(1) 宿泊関係

細目	県	会場地市町村
宿泊施設等 実態調査	<ol style="list-style-type: none"> 宿泊施設等実態調査の実施 県内宿泊施設台帳の作成 	<ol style="list-style-type: none"> 会場地市町村における宿泊施設等実態調査の実施及び作成 会場地市町村における宿泊施設台帳の作成
宿泊・ 配宿計画等	<ol style="list-style-type: none"> 宿泊基本方針の決定及び計画の策定 総合配宿計画の策定及び広域配宿に関する連絡調整 宿泊料金等の決定及び協定の締結 	<ol style="list-style-type: none"> 会場地市町村における配宿計画の策定 広域配宿の実施及び引き受け市町村との連絡調整

	<ul style="list-style-type: none"> 4 宿泊要項の作成 5 県内配宿施設名簿の作成及び配布 6 宿泊本部の設置及び運営 	<ul style="list-style-type: none"> 3 配宿の実施 4 会場地市町村における配宿施設名簿の作成
宿泊指導等	<ul style="list-style-type: none"> 1 宿泊施設等の改善指導及び連絡調整 2 宿泊案内図、標識、表示板、料金表等の作成に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設等の改善指導（バリアフリー対策を含む） 2 会場地市町村における宿舎案内図、標識、表示板、料金表等の作成及び配布
民泊	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における民泊基本計画の策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における民泊基本計画の策定 2 会場地市町村における民泊協力者の調査及び連絡調整 3 民泊協力者の決定及び指導
物資調達	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における主要食品、寝具等の調達計画の策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における主要食品、寝具等の調達計画の策定及び調達の実施
標準献立	<ul style="list-style-type: none"> 1 標準献立作成方針の決定 2 標準献立表の作成及び指導 3 標準献立普及講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における標準献立普及地区講習会の開催
国体弁当	<ul style="list-style-type: none"> 1 弁当調達計画の策定 2 開・閉会式における弁当の調達及び斡旋 3 国体弁当調理講習会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における弁当調達計画の策定 2 会場地市町村における弁当の調達及び斡旋
宿泊申込	<ul style="list-style-type: none"> 1 宿泊申込書の受理、整理及び連絡調整 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設との連絡調整

(2) 衛生関係

細目	県	会場地市町村
医事衛生	<ul style="list-style-type: none"> 1 医事衛生基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における医事衛生計画策定に関する助言 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における医事衛生計画の策定
医療救護	<ul style="list-style-type: none"> 1 医療救護実施要項等の作成 2 医療機関との連絡調整 3 救護本部の設置及び運営 4 開・閉会式における救護所等の設置及び救急車の配置並びに救護の実施 5 大会旗・炬火リレーにおける救護の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における医療救護計画等の策定 2 会場地市町村における医療機関との連絡調整 3 競技会場、練習会場における救護所の設置及び救急車の配置並びに救護の実施 4 大会旗・炬火リレーにおける救護の協力

食品衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 食品衛生対策要項の作成 2 食品衛生の監視指導 3 食品衛生講習会の開催 4 食品衛生に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における食品衛生の監視指導の協力 2 会場地市町村における食品衛生地区講習会の開催 3 会場地市町村における食品衛生に関する普及・啓発
環境衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境衛生対策要項の作成 2 環境衛生関係営業施設の整備指導 3 清掃パトロール計画の策定 4 環境衛生に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における環境衛生関係営業施設の整備指導の協力 2 清掃パトロールの実施 3 会場地市町村における環境衛生に関する普及・啓発
予防・防疫	<ol style="list-style-type: none"> 1 防疫対策要項の作成 2 宿泊施設及び食品営業関係者等の健康診断の実施 3 予防・防疫の監視指導 4 予防・防疫に関する普及・啓発 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における宿泊施設及び食品営業関係者等の健康診断の実施 2 会場地市町村における予防・防疫の監視指導 3 会場地市町村における予防・防疫に関する普及・啓発
馬事衛生	<ol style="list-style-type: none"> 1 馬事衛生対策要項の作成 2 馬事衛生対策の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1 馬事衛生対策の実施
環境保全	<ol style="list-style-type: none"> 1 廃棄物減量化、リサイクル計画の策定及び実施 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における廃棄物減量化、リサイクル計画の策定及び実施

7 輸送・交通

細目	県	会場地市町村
輸送計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送交通基本方針の決定及び計画の策定 2 全国輸送計画の策定 3 開・閉会式輸送計画の策定 4 会場地市町村における輸送計画の策定に関する助言 5 輸送機関との連絡調整 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における輸送計画の策定 2 会場地市町村における輸送機関との連絡調整
大会参加者等輸送	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送本部の設置及び運営 2 開・閉会式における大会参加者等の輸送 3 開・閉会式における輸送交通の案内 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における大会参加者等の輸送 2 会場地市町村における輸送交通の案内
配車・車両借上げ等	<ol style="list-style-type: none"> 1 開・閉会式配車計画の策定 2 車両の借上げ、幹旋及び配車 	<ol style="list-style-type: none"> 1 会場地市町村における配車計画の策定 2 会場地市町村における車両の借上げ、幹旋及び配車
輸送サービス等	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送関係機関との交通料金の協定締結 	<ol style="list-style-type: none"> 1 輸送関係機関従業員接遇地区講習会の開催

	2 輸送関係機関従業員接遇講習会の開催	
駐車場管理	1 開・閉会式における駐車場の管理及び運営 2 開・閉会式における駐車ステッカーの作成及び配布	1 会場地市町村における駐車場の管理及び運営 2 会場地市町村における駐車ステッカーの作成及び配布
交通計画・交通規制	1 輸送交通基本方針の決定及び計画の策定（再掲） 2 開・閉会式における交通案内図の作成及び配布 3 開・閉会式における交通案内標識等の設置 4 開・閉会式における交通規制及び交通整理の実施 5 大会旗・炬火リレーにおける交通計画の策定及び交通整理の実施	1 会場地市町村における交通計画の策定 2 会場地市町村における交通案内図の作成及び配布 3 会場地市町村における交通案内標識等の設置 4 会場地市町村における交通整理の実施 5 会場地市町村における大会旗・炬火リレーの交通計画の策定及び交通整理の実施

8 警備・消防・防災

細目	県	会場地市町村
警備	1 警備基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における警備計画策定に関する助言 3 警備本部の設置及び運営 4 開・閉会式における警備の実施 5 警備用装備資材の整備	1 会場地市町村における警備計画の策定 2 競技会場等における警備の実施 3 会場地市町村における警備上必要な資材の整備
消防防災	1 消防防災基本方針の決定及び計画の策定 2 会場地市町村における消防防災計画の策定に関する助言 3 消防防災本部の設置及び運営 4 開・閉会式における消防防災の実施	1 会場地市町村における消防防災計画の策定 2 会場地市町村における消防防災の実施

※ 県、会場地市町村の業務の要項及び内容については、業務の進捗状況に応じて、適宜修正を加えるものとする。

第8 1回国民スポーツ大会実施競技選択基本方針

第8 1回国民スポーツ大会で実施する競技は、「国民体育大会開催基準要項及び同細則（公益財団法人日本スポーツ協会）」に定められている正式競技及び特別競技のほか、本県のスポーツの現状及び大会後におけるスポーツの普及・振興を考慮しながら、次のとおり選択する。

- 1 公開競技は、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの7競技のうち、中央競技団体等と協議の上、実施競技を選択する。
- 2 デモンストレーションスポーツは、正式競技、特別競技及び公開競技として選択されない競技のうち、公益財団法人宮崎県スポーツ協会（以下、「県ス協」という。）に加盟する競技団体又は県ス協が推薦するスポーツ・レクリエーション団体の中から、市町村の希望や競技団体の意向を踏まえ、関係機関・団体との協議の上、実施競技を選択する。

第26回全国障害者スポーツ大会 県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針

第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の開催に当たり、県及び会場地市町村は、次の方針に基づき業務を分担し、経費を負担するものとする。

1 県が担当する業務と負担する経費

- (1) 全県的な業務推進の基本となる計画の策定及び当該計画の実施並びに推進に必要な総合調整、連絡及び助言を担当し、経費を負担する。
- (2) 開・閉会式の実施及び大会実施本部の運営等、全県的・総合的な大会の準備及び運営に関する業務を担当し、経費を負担する。

2 会場地市町村が担当する業務と負担する経費

- (1) 競技会場の主催者として、競技会実施本部の運営に関する業務を担い、経費を負担する。

3 業務分担、経費負担の細目

県及び会場地市町村の業務分担、経費負担の細目については、次のとおり定める。

- (1) 県と会場地市町村の業務分担の細目は、別表1のとおりとする。
- (2) 県と会場地市町村の経費負担の細目は、別表2のとおりとする。
- (3) この細目に定めのない事項で必要なものについては、県と会場地市町村が協議の上、別に定める。

別表 1

区 分	主な内容	県	市町村
総務企画	開催準備計画の策定（全般）	○	
	開催準備計画の策定（競技会運営、独自事業）		○
	大会実施本部の設置・運営（係員の編成・業務説明会等を含む）	○	
	競技会実施本部の設置・運営（係員の編成・業務説明会等を含む）		○
	大会実施本部員等必携の作成	○	
	競技会実施本部員等必携の作成		○
	実施本部員、競技役員・補助員、各種ボランティア等の服飾の整備	○	
	式典の企画・運営	○	
行啓等	行啓本部の設置・運営、行啓計画・警備計画の策定	○	
	御泊所、御休憩所、御席（ロイヤルボックス等）等の整備	○	
歓迎・案内	ふれあい広場の設置・運営（開・閉開式会場）	○	
	ふれあい広場の運営（競技会場）		○
	会場地独自のおもてなし		任意
	案内・物品貸与・湯茶接待等の各種サービス施設の設置	○	
	案内・物品貸与・湯茶接待等の各種サービス施設の運営・管理		○
競技施設	競技会場の仮設施設の整備、会場設営	○	
	競技会場の管理・清掃美化		○
競技運営	競技実施要項・競技別実施要領の策定	○	
	競技別プログラムの作成	○	
	競技会の運営（開始式・表彰式・競技記録の報告等）		○
	競技用具の整備	○	
	競技会運営用の消耗品の整備		○
	競技役員等の養成および編成	○	
広報・ 県民運動	各種広報媒体物・行事等における大会PR	○	○
	県民運動の普及啓発・推進	○	
	会場市町村における県民運動の推進		○
	各種ボランティアの募集・養成・登録	○	
	競技会場へのボランティア配置	○	
	競技会場におけるボランティアの総括（配置・指示・調整等）		○
宿泊・衛生	宿泊計画の作成および配宿の実施、弁当の調達・斡旋	○	
	弁当引換所の運営・管理		○
	医療救護計画の策定、救護所等の設置	○	
	救護所等の運営・管理		○
輸送・交通	輸送計画の策定、輸送の実施、駐車場の確保	○	
	駐車場の管理運営・交通整理の実施		○
警備・消防	警備・消防防災計画の策定	○	
	警備・消防防災の実施		○

別表 2

区 分	主な内容	県	市町村	備 考
総務企画	大会従事者の保険	○		
	大会招待者に対する招待状の発送	○		市町村独自招待分は市町村負担
	I Dカードの作成	○		
	実施本部の備品	○		コピー機、F A X等
	上記以外の備品および消耗品		○	筆記用具等
	実施本部員、競技役員・補助員、各種ボランティア等の服飾	○		
行啓等	行啓・お成り	○		
歓迎・案内	総合案内所・看板設置	○		
	ふれあい広場の設置	○		
	ドリンクサービスの飲料	○		市町村独自提供分は市町村負担
施設整備	競技会場の仮設施設の整備、会場設営	○		
	会場使用料	○		使用料減免への協力
	トイレ・スロープ等仮設物の設置	○		市町村の判断で常設設備または、独自の仮設設備（装飾等）の整備を行う場合は市町村負担
	音響設備、通信機器等の配備	○		
	会場装飾、看板、サイン表示等	○		
競技運営	競技実施本部員の旅費		○	先催県視察、宿泊を含む
	競技実施本部員の時間外勤務手当		○	
	競技実施本部員業務必携の作成・印刷		○	
	競技運営（主管団体への委託）	○		
	競技役員等の養成・編成	○		
	競技用具の整備	○		国スポと調整・連携
	表彰物品の作成	○		大会メダル、賞状等
	プログラムの作成	○		市町村独自プログラムを作成するときは市町村負担
市町村が出演依頼をする開始式出演団体の旅費等		○	内容については競技団体等との調整が必要	
広報・ 県民運動	印刷物・広報物品等の作成	○		市町村独自作成分は市町村負担
	広報イベントの開催	○		市町村独自作成分は市町村負担
	ボランティアの募集・養成（パンフレット作成、研修等）	○		市町村独自作成分は市町村負担
	ボランティアの保険・弁当	○		
宿泊・衛生	選手団等の配宿	○		
	救護所の設置	○		
輸送・交通	計画バス等の運行	○		

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等編成基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）における競技役員等の編成は、大会における競技会の運営が円滑に行われるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 基本方針

- (1) 競技役員等の編成は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」（以下「要項」という。）及び同細則並びに「国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準」に基づき、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備（実行）委員会（以下「宮崎県準備（実行）委員会」という。）が、会場地市町村準備（実行）委員会及び県・中央競技団体と十分協議して行うこととする。
- (2) 競技役員等の編成は、1 人 1 競技を原則として、県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、できる限り県内役員とし、競技団体及び会場地市町村の実情に即し、必要最低限の人数により最大の効果をあげることができるよう適正な配置を行うこととする。
- (3) 競技役員等の編成は、競技団体及び会場地市町村関係者のみならず、広く県民の積極的な参加と協力が得られるよう配慮する。

2 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容

- (1) 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容は、別表のとおりとする。
- (2) 競技役員等の編成案は、会場地市町村準備（実行）委員会が競技団体等と協議の上作成し、宮崎県準備（実行）委員会において決定する。

3 競技役員等の調整

競技役員等の編成に当たり、重複して競技役員等（監督、コーチ及び選手を含む）となる可能性がある場合は、原則として次により関係者が協議して調整する。

- (1) 監督、コーチ及び選手並びに競技役員等の重複については、監督、コーチ及び選手を優先する。
- (2) 2 競技以上にわたる競技役員等の重複については、その業務内容により、関係者が協議して調整する。
- (3) 同一競技における競技役員等の重複については、その業務内容により認める。
- (4) 開・閉会式及び集団演技関係役員と競技役員等の重複については、その業務内容により認める。

【別表】 競技役員等の種類、定義及び編成方法並びに業務内容

	役職名	定義	編成方法	業務内容
競技会運営 (試合等)	①競技会役員	要項第23項第2号の規定に該当する者	名誉会長、会長、副会長、顧問、参与、委員長、副委員長及び委員	—
	②競技役員			
	審判員	競技の審判に携わる者	○原則として、県内有資格者 ○必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含める。	総括、総務、運営、審判、記録、出発、監察、放送、召集、掲示、進行、報道、表彰、救護、得点掲示、会場、記録送受信、総合成績計算 等
	運営員	競技会の運営に携わる者(審判員を除く。)	○原則として、県競技団体関係者と会場地市町村関係者等 ○必要に応じて中央及び近県競技団体関係者を含める。	
③競技補助員	競技役員の業務補助に携わる者	会場地市町村及び周辺市町村に在住する当該競技関係者	競技役員の業務を補助	
競技会場運営	①競技会係員	宿泊・輸送・歓迎・駐車場等の競技会を支援する間接的な業務に携わる者	会場地市町村関係者等	総括、総務、接待、宿泊、輸送、警備、駐車場、入場券販売、施設管理、会場美化、練習会場、会場整理、プログラム販売、受付案内、弁当、等
	②競技会補助員	競技会係員の業務補助に携わる者	会場地市町村及び周辺市町村に在住する者	競技会係員の業務補助

注) 競技役員のうち、競技役員、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の想定される業務内容である。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 競技役員等養成基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営に当たる競技役員等の養成は、競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を図り、大会後も各競技の普及・強化につなげるために、次の基本方針に基づいて計画的に推進する。

- 1 競技役員等については、中央競技団体と連携のうえ、できる限り県内有資格者により必要人数を確保することを目標として養成する。
- 2 競技役員等は、円滑な競技運営を図るため、役員の負担軽減を考慮し、1 人 1 競技を原則として養成する。
- 3 競技役員等は、県、会場地市町村、競技団体等の業務分担を明確にし、十分に連携を図りながら計画的に養成する。
- 4 資格が必要な競技役員については、資格取得及び資質の向上が重要となることから、各競技団体ごとに年次別養成計画を策定し養成する。
- 5 資格が必要のない競技役員等については、本県及び地域スポーツの普及・振興を図るため、広く県民の積極的な参加と協力を呼びかけ、各競技会場地及びその周辺において、できる限り確保できるよう養成する。

第 8 1 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画

第 8 1 回国民スポーツ大会の競技運営に当たる競技役員等の養成については、「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針」及び「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針」に基づき、第 8 1 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画を作成し、計画的かつ円滑な事業の推進を図る。

1 養成対象

競技役員（審判員・運営員）、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員を養成の対象とする。

2 業務分担

- (1) 競技役員（審判員・運営員）及び競技補助員については、競技団体がその養成を行う。
- (2) 競技会係員及び競技会補助員については、会場地市町村が関係団体と十分協議し、その養成を行う。
- (3) 県は、競技団体及び会場地市町村と連携を図り、競技役員等の養成計画の推進に努める。

3 養成事業

- (1) 競技役員（審判員・運営員）の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会
 - ③ 中央及びブロックの競技団体主催の講習会への派遣
 - ④ 中央及びブロックの競技団体主催の大会への派遣
- (2) 競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会

4 養成実施年次計画

競技役員等の養成実施年次計画は、次のとおりとする。

区分・内容			年 度								
			平成 30年 9年前	令和 元年 8年前	令和 2年 7年前	令和 3年 6年前	令和 4年 5年前	令和 5年 4年前	令和 6年 3年前	令和 7年 2年前	令和 8年 1年前
競技役員	審判員	中央講習会等派遣 県内講習会	資格取得、資格維持、資質向上								
	運営員	要資格 運営員	資格取得、資格維持、資質向上								
		その他 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会							養成、資質向上	
競技補助員		県内講習会							養成、資質向上		
競技会係員		県内講習会							養成		
競技会補助員		県内講習会							養成		

5 競技役員等の養成計画

- (1) 競技役員等の具体的な養成計画は、各競技団体が別途作成する。
- (2) 養成計画は、事業の進捗状況をふまえ、毎年見直しをする。

第81回国民スポーツ大会競技運営基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則並びに第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

- 1 正式競技、公開競技及び特別競技の運営は、日本スポーツ協会加盟の各競技団体及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が主管する。また、デモンストレーションスポーツの運営は、県競技団体等が主管する。
- 2 正式競技及び特別競技の競技役員等の編成は、日本スポーツ協会の定める国民体育大会各競技会開催にあたる競技役員編成基準及び第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針に基づき行うものとする。
- 3 競技用具は、第81回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針に基づき、競技運営に支障がないよう県及び会場地市町村において計画的に整備する。
- 4 競技記録及び成績の収集・速報は、県及び会場地市町村が競技団体と連携を図り、迅速かつ正確に処理する。
- 5 競技会の運営能力の向上を図るためにリハーサル大会を実施する場合は、会場地市町村と競技団体が協力して、運営全般にわたって習熟を図るとともに、県民の大会及び各種競技に対する関心を高め、理解を深めるよう努めるものとする。
- 6 その他、競技運営の諸企画及び実施に当たっては、競技団体及び関係機関と十分な連携を図り、適切に行うものとする。

第81回国民スポーツ大会競技用具整備基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技運営に要する器具・用具（以下「競技用具」という。）については、競技運営に万全を期するとともに、本県スポーツの普及・振興に資するため、次の方針に基づき計画的に整備する。

- 1 競技用具の整備に当たっては、第81回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針及び同細目並びに別に定める第81回国民スポーツ大会競技用具整備計画に基づくものとする。
- 2 競技用具の整備に当たっては、県と会場地市町村が十分協議するとともに、県競技団体、公益財団法人日本スポーツ協会、中央競技団体と連携の上、推進するものとする。
- 3 競技用具は、原則として県及び会場地市町村並びに県競技団体が現有するものを活用することとし、現有の競技用具で不足するものについては借用し、借用困難な場合についてのみ購入するものとする。
- 4 一般の利活用が見込めない競技用具や通常の競技会運営に必要な競技用具の量、質を越えて整備しなければならないものについては、別に定める。
- 5 購入する競技用具の保管及び大会終了後の利活用については、県及び会場地市町村がそれぞれの責任において行うものとする。

第81回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）において実施する公開競技は、公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 大会を契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指す。

2 実施競技の実施

競技は、次の事項について総合的に検討し、実施する。

- (1) 競技を実施することにより、国スポ終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他必要な事項は、別に定める。
- (2) 実施時期は、当該大会開催年度の4月1日から大会閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

第81回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針

第81回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の大会への参加機会をより多く設けるとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指す。
- (2) デモスポへの参加を通じて、世代間や地域間の交流の輪を広げ、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを目指す。

2 実施競技の実施

競技は、次の事項について総合的に検討し、実施する。

- (1) 正式競技、特別競技、公開競技以外の競技で公益財団法人宮崎県スポーツ協会に加盟又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は、別に定める。
- (2) 実施時期は、当該大会開催年度の4月1日から大会閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、原則として1日とする。

5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は、第81回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

第81回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画

1 趣旨

第81回国民スポーツ大会の各競技会の円滑な運営と本県及び地域スポーツの一層の普及・振興を目的に、審判員及び要資格運営員の資格取得、資格維持及び資質向上を図るため、審判員・要資格運営員養成計画を作成し、計画的かつ円滑に事業を推進する。

2 基本的事項

以下に基づき、第81回国民スポーツ大会審判員・要資格運営員養成計画を作成する。

- (1) 国民体育大会各競技開催にあたる競技役員編成基準〔(公財)日本スポーツ協会〕
- (2) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等編成基本方針
- (3) 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会競技役員等養成基本方針
- (4) 第81回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画
- (5) 競技団体役員数の現状

3 養成目標数

審判員及び要資格運営員の養成目標数 1, 270人 (別表<1>)

4 養成年次計画

各競技団体が養成年次計画を作成して養成する。(別表<2・3>)

5 養成方法

中央講習会等への派遣及び県内講習会の開催等により養成する。

6 その他

毎年各競技団体の養成状況を確認し、適宜本計画を見直すこととする。

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数

単位:人

No.	内訳 競技名	競技役員数	資格が必要な競技役員数			県外からの派遣数			県内必要数 計⑦ (③—⑥)	開催時 従事見込数 ⑧	不足数 ⑨ (⑦—⑧)	養成 目標数
			審判員 ①	要資格 運営員 ②	計 ③ (①+②)	中央 ④	近県 ⑤	計 ⑥ (④+⑤)				
1	陸上競技	400	400	0	400	10	21	31	369	367	2	3
2	水泳	390	58	207	265	54	43	97	168	66	102	133
3	サッカー	373	61	68	129	26	41	67	62	35	27	35
4	テニス	669	156	12	168	8	2	10	158	8	150	195
5	ボート	135	48	12	60	2	40	42	18	8	10	13
6	ホッケー	211	20	27	47	2	2	4	43	9	34	45
7	ボクシング	94	32	0	32	30	0	30	2	1	1	2
8	バレーボール	419	79	0	79	5	8	13	66	41	25	33
9	体操	440	111	6	117	42	15	57	60	41	19	25
10	バスケットボール	310	86	26	112	28	15	43	69	46	23	30
11	レスリング	365	46	0	46	39	0	39	7	4	3	4
12	セーリング	253	20	86	106	14	24	38	68	14	54	71
13	ウエイトリフティング	122	46	7	53	12	10	22	31	10	21	28
14	ハンドボール	256	38	0	38	24	0	24	14	4	10	13
15	自転車	364	118	0	118	10	52	62	56	7	49	64
16	ソフトテニス	308	197	0	197	4	25	29	168	1,259	0	0
17	卓球	202	100	0	100	1	0	1	99	15	84	110
18	軟式野球	334	78	0	78	8	0	8	70	103	0	0
19	相撲	125	52	0	52	11	9	20	32	2	30	39
20	馬術	431	56	0	56	50	6	56	0	1	0	0
21	フェンシング	102	25	0	25	25	0	25	0	0	0	0
22	柔道	71	53	0	53	30	10	40	13	8	5	7
23	ソフトボール	326	160	0	160	6	10	16	144	60	84	110
24	バドミントン	325	99	132	231	12	18	30	201	184	17	22
25	弓道	201	32	30	62	2	18	20	42	28	14	19
26	ライフル射撃	145	10	55	65	35	27	62	3	3	0	0
27	剣道	114	27	0	27	27	0	27	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	192	62	0	62	2	6	8	54	60	0	0
29	スポーツクライミング	70	21	49	70	13	4	17	53	22	31	42
30	カヌー	144	219	0	219	52	29	81	138	55	83	108
31	アーチェリー	58	32	16	48	5	19	24	24	8	16	21
32	空手道	89	46	43	89	42	0	42	47	18	29	38
33	銃剣道	86	16	0	16	12	3	15	1	4	0	0
34	なぎなた	112	21	5	26	26	0	26	0	5	0	0
35	ボウリング	50	35	0	35	0	0	0	35	19	16	21
36	ゴルフ	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	85	59	0	59	2	0	2	57	27	30	39
38	高等学校野球	218	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		8,689	2,719	781	3,500	671	457	1,128	2,372	2,542	969	1,270

注) ⑦「県内必要数」、⑧「開催時従事見込数」、⑨「不足数」は、各資格の階級及び種類に属する、全ての有資格者数を合算したものであり、⑨「不足数」に1.3を乗じたものが「養成目標数」である。

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数
【資格取得】

単位:人

No.	内訳 競技名	養成 目標数	養成(資格取得)年次計画									延養成数
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
			H30 (8年前)	R01 (7年前)	R02 (6年前)	R03 (5年前)	R04 (4年前)	R05 (3年前)	R06 (2年前)	R07 (1年前)	R08 (開催年)	
1	陸上競技	3	20	24	23	23	20	19	18	18	18	183
2	水泳	133	0	25	30	52	38	26	26	17	6	220
3	サッカー	35	0	6	5	5	8	4	5	5	4	42
4	テニス	195	15	21	20	21	20	26	25	36	15	199
5	ボート	13	0	0	2	3	4	4	5	4	0	22
6	ホッケー	45	2	10	12	13	14	9	9	5	2	76
7	ボクシング	2	1	0	1	0	1	1	1	0	0	5
8	バレーボール	33	0	3	4	3	6	3	7	4	6	36
9	体操	25	19	10	19	14	18	16	24	22	10	152
10	バスケットボール	30	9	13	13	12	12	13	12	12	12	108
11	レスリング	4	0	2	3	3	3	3	0	0	0	14
12	セーリング	71	5	9	4	19	10	4	25	10	0	86
13	ウエイトリフティング	28	0	5	3	6	6	9	6	6	4	45
14	ハンドボール	13	0	2	2	4	2	4	4	3	0	21
15	自転車	64	0	20	20	20	4	0	0	0	0	64
16	ソフトテニス	0	1	8	7	7	8	6	6	7	1	51
17	卓球	110	10	17	16	21	21	22	41	11	0	159
18	軟式野球	0	1	6	7	7	8	8	8	8	8	61
19	相撲	39	1	2	1	3	3	25	4	0	0	39
20	馬術	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	4
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	7	0	2	2	2	1	0	0	0	0	7
23	ソフトボール	110	0	30	35	50	30	60	10	50	30	295
24	バドミントン	22	20	33	21	33	22	33	23	25	32	242
25	弓道	19	6	3	3	3	2	2	0	0	0	19
26	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	0	0	3	8	8	10	6	6	9	1	51
29	スポーツクライミング	42	3	3	2	2	3	52	10	2	2	79
30	カヌー	108	0	0	0	0	0	0	80	41	30	151
31	アーチェリー	21	1	1	9	2	4	4	10	5	4	40
32	空手道	38	0	11	11	13	13	12	0	0	0	60
33	銃剣道	0	0	0	2	2	2	1	1	1	0	9
34	なぎなた	0	0	0	0	1	1	2	1	2	1	8
35	ボウリング	21	0	0	5	4	5	4	3	3	0	24
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	39	7	8	7	8	7	8	7	10	10	72
38	高等学校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1,270	121	277	298	364	307	387	377	317	196	2,644

注) 各資格の階級及び種類において、取得が見込まれる人数の合計を示したものの。

第81回国民スポーツ大会競技役員(審判員・要資格運営員)養成目標数
【資格維持・資質向上】

単位:人

No.	内訳 競技名	養成(維持・向上)年次計画									計
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
		H30 (8年前)	R01 (7年前)	R02 (6年前)	R03 (5年前)	R04 (4年前)	R05 (3年前)	R06 (2年前)	R07 (1年前)	R08 (開催年)	
1	陸上競技	191	197	208	218	231	242	243	253	262	2,045
2	水泳	70	70	95	93	112	125	126	135	136	962
3	サッカー	64	64	70	75	79	87	91	95	98	723
4	テニス	30	44	65	84	105	124	150	174	210	986
5	ボート	8	8	8	9	10	13	15	16	20	107
6	ホッケー	18	16	21	27	33	39	43	47	50	294
7	ボクシング	1	2	2	3	3	3	3	4	4	25
8	バレーボール	41	41	43	47	47	53	53	60	64	449
9	体操	45	67	71	84	95	107	112	126	148	855
10	バスケットボール	62	66	74	83	91	98	107	115	123	819
11	レスリング	6	5	6	8	10	12	15	15	15	92
12	セーリング	41	45	52	54	71	79	78	102	108	630
13	ウエイトリフティング	11	26	17	16	20	25	33	42	48	238
14	ハンドボール	6	4	6	6	10	10	13	17	20	92
15	自転車	0	7	27	47	67	71	71	71	71	432
16	ソフトテニス	56	54	60	65	69	76	81	84	90	635
17	卓球	15	21	35	48	66	83	84	114	125	591
18	軟式野球	103	101	104	107	110	114	118	122	126	1,005
19	相撲	2	3	5	6	9	12	37	41	41	156
20	馬術	1	1	1	2	2	2	3	2	3	17
21	フェンシング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	柔道	0	10	12	14	15	15	0	0	0	66
23	ソフトボール	60	60	85	100	150	140	200	170	190	1,155
24	バドミントン	85	102	134	162	193	222	252	270	302	1,722
25	弓道	28	34	37	40	43	45	47	47	47	368
26	ライフル射撃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	剣道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	ラグビーフットボール	84	84	82	85	86	90	90	87	95	783
29	スポーツクライミング	2	2	1	3	3	4	12	4	4	35
30	カヌー	0	0	0	0	0	0	0	80	121	201
31	アーチェリー	11	12	10	18	18	20	21	29	32	171
32	空手道	0	14	21	27	35	44	56	56	56	309
33	銃剣道	5	5	4	5	6	8	8	8	8	57
34	なぎなた	5	5	5	5	6	6	8	8	8	56
35	ボウリング	19	19	18	23	26	31	35	38	41	250
36	ゴルフ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	トライアスロン	27	30	35	38	43	46	51	54	60	384
38	高等学校野球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		1,097	1,219	1,414	1,602	1,864	2,046	2,256	2,486	2,726	16,710

注) 各資格の階級及び種類において、維持・向上が見込まれる人数の合計を示したものの。

第 8 1 回国民スポーツ大会競技施設整備基本方針

第 8 1 回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）の競技施設は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、「国民体育大会開催基準要項（公益財団法人日本スポーツ協会）」が定める施設基準を尊重し、次のとおりとする。

- 1 競技施設は、可能な限り県内の既存施設を活用する。
- 2 施設基準等の弾力的な運用を関係機関に要請するとともに、やむを得ず施設整備を行う場合は、真に必要な施設に限定し、大会終了後においても地域住民に広く活用されるよう配慮する。
- 3 施設整備に当たっては、競技運営に支障がないよう、計画の段階から当該競技団体及び関係機関と十分協議するとともに、ユニバーサルデザインへの対応に努め、自然・環境・景観に十分配慮する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 広報基本方針

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、大会の開催意義を広く県民に周知し、その理解を深めることにより、大会への参加意識の高揚を図り、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指すとともに、大会開催と宮崎の魅力を全国に発信するために、次のとおり実施する。

- 1 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の多様な主体との連携・協働のもと、各種の広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、大会の積極的な広報に努める。
- 2 報道機関との連携や多様なメディアの活用により、大会に関する情報を迅速かつ広域に伝達するとともに、神話や伝統、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、宮崎の多彩な魅力を全国に発信する。
- 3 大会を象徴し、広く県民に愛されるような愛称・スローガン、マスコット等を制定し、その普及を図ることにより、大会開催の機運を高める。
- 4 大会の記録映像及び記録写真集等を制作し、その感動と興奮を永く記録にとどめ、大会開催の成果を「未来のみやざき」づくりにつなげる。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 広報基本計画

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）の広報活動については、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会広報基本方針に基づき、次の広報活動を積極的かつ効果的に推進する。

1 愛称・スローガン等による広報

大会を象徴する愛称・スローガン等を制定し、普及する。

- (1) 愛称・スローガンの制定及び普及
- (2) マスコットの制定及び普及
- (3) イメージソング等の制定及び普及

2 各種広報物による広報

各種広報物の作成や既存の広報誌等を活用した、積極的な広報活動を展開する。

- (1) 広報紙の発行
- (2) ポスター、パンフレット、リーフレット等の作成
- (3) 大会ガイドブック等の作成
- (4) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の刊行物（広報誌等）の活用
- (5) 広報グッズ等の作成

3 屋外広告物による広報

広告塔や横断幕等を設置して大会開催の広報を実施する。

- (1) 広告塔、歓迎塔等の設置
- (2) のぼり、横断幕、懸垂幕等の設置
- (3) 案内板、カウントダウンボード等の設置

4 多様なメディアによる広報

報道機関との連携及び多様なメディアの活用により、広域的かつ効果的な広報活動の展開を図る。

- (1) 新聞、テレビ、ラジオ等による広報活動の推進
- (2) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等の広報活動の活用
- (3) ホームページやソーシャルメディア等による広報活動の推進

5 イベント等による広報

大会開催までの節目などにおいてイベントを開催するとともに、各種イベントと連携した広報活動を実施する。

- (1) 開催内定イベント、開催決定イベント等の開催
- (2) 県・市町村、関係機関・団体及び企業等において実施する各種イベントにおけるPR活動等の実施

6 映像による広報

PR映像を活用した広報を実施する。

- (1) 広報用映像の制作及びインターネット等での公開
- (2) 前回大会（日本のふるさと宮崎国体）や先催県の大会映像（DVD等）の貸出

7 記録映像等の制作

大会の成果を永く記録にとどめるため、記録映像等を制作する。

- (1) 大会記録映像（DVD等）の制作
- (2) 大会記録写真集の制作

8 参加章等の作成

大会の開催を記念し、参加章や記念章等を作成する。

- (1) 参加章、記念章の作成
- (2) 記念グッズ等の作成

9 その他

その他、広報基本方針に基づき、効果的な広報を実施する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 県民運動基本方針

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会(以下「大会」という。)の県民運動は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会の実現を目指して、次の方針に基づき展開する。

この大会の開催を契機に、スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組むとともに、本県の多彩な魅力の発信やスポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進する。

- 1 すべての県民が、大会やイベント、ボランティア活動などに主体的に参加し、地域が一体となって大会を盛り上げる。
- 2 すべての県民が、来県者等を“おもてなしの心”で温かく迎える。
- 3 すべての県民が、スポーツとの関わりを通じ、スポーツの素晴らしさを体感し、生涯にわたりスポーツ活動に親しむ。
- 4 すべての県民が、来県者等との交流を通じて、宮崎県の多彩な魅力を全国へ向けて発信する。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基本方針

第81回国民スポーツ大会(以下「国スポ」という。)及び第26回全国障害者スポーツ大会(以下「障スポ」という。)に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員その他の関係者(以下「参加者」という。)及び一般観覧者の輸送については、道路及び交通の状況等に十分配慮しながら、安全かつ確実にを行うものとする。

1 参加者の輸送

(1) 全国輸送

ア 全国から来県する参加者の輸送については、各派遣元団体等で来県方法を決定するものとする。

イ 県及び会場地市町村は、関係機関等の協力を得て、円滑な輸送の確保に努める。

(2) 開・閉会式の輸送

ア 開・閉会式における参加者の輸送については、県が会場地市町村、関係機関等の協力を得て実施する。

イ 原則として計画輸送とし、円滑な輸送の確保に努める。

(3) 競技会場地の輸送

ア 国スポの競技会場地における参加者の輸送については、会場地市町村が県及び関係機関等の協力を得て実施する。また、同一の競技を2市町村以上の会場地で行う場合は、円滑な輸送が行われるよう、関係市町村が協議して実施する。

イ 障スポの競技会場地における参加者の輸送については、県が実施する。

(4) 指定集合地の設定

県及び会場地市町村は、国スポの開・閉会式及び各競技会場地における参加者の輸送を円滑に行うため、宿舍の分布、参加人員、道路交通事情等を考慮し、バス、タクシーその他の車両の乗降場として必要に応じて指定集合地を設ける。

2 一般観覧者の輸送

(1) 開・閉会式及び競技会場地の輸送については、県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て、バス・タクシー及び鉄道等の利用による円滑な輸送に努める。

(2) 自家用車での開・閉会式会場及び競技会場への乗り入れについては、道路交通事情及び駐車場の設置状況に応じて必要な制限を行う。

3 車両等及び駐車場の確保

(1) 参加者及び一般観覧者の輸送に必要な車両等については、県及び会場地市町村が関係機関等の協力を得て、その確保に努める。

(2) 車両の確保については、ユニバーサルデザイン車両の確保に努めるとともに、障がい者等の移動に配慮する。

(3) 県及び会場地市町村は、開・閉会式及び競技会場地における駐車場の確保に努めるとともに、遠隔となる駐車場については、必要な措置を講じる。

4 交通安全対策

県及び会場地市町村は、期間中における交通安全の確保と交通混雑の緩和を図るため、関係機関等のもとより、広く県民に協力を求め、実情に応じて適切な対策を講じる。

5 環境に配慮した運営

県及び会場地市町村は、開・閉会式及び競技会場地における参加者及び一般観覧者の輸送については、マイカー自粛や公共交通機関の利用促進を呼びかけるなど、環境に配慮した運営に努める。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会会則

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

(目的)

第 2 条 準備委員会は、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）を宮崎県において開催するために必要な準備を行うことを目的とする。

(事業)

第 3 条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 大会開催に必要な方針及び計画の策定に関すること。
- (2) 大会における実施競技及び会場地市町村に関すること。
- (3) 大会開催に必要な施設・設備の整備計画に関すること。
- (4) 大会開催及び準備に係る経費に関すること。
- (5) 関係行政機関及び関係機関との連絡調整に関すること。
- (6) その他大会を開催するために必要な準備に関すること。

第 2 章 組織

(構成)

第 4 条 準備委員会は、会長、委員及び監事をもって構成する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱又は任命する。

- (1) 県及び市町村を代表する者
- (2) 県及び市町村の議会を代表する者
- (3) 関係競技団体その他関係機関・団体を代表する者
- (4) 前各号に掲げる者のほか大会開催の準備に関係のある者

(役員)

第 5 条 準備委員会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副 会 長 8 名以内
- (3) 常任委員 60 名以内
- (4) 監 事 3 名以内

(役員を選任)

第 6 条 準備委員会の会長は、宮崎県知事をもって充てる。

- 2 副会長及び常任委員は、総会の承認を得て委員のうちから会長が選任する。
- 3 監事は、総会の承認を得て会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ会長が指名した副会長が、その職務を代理する。

3 常任委員は、常任委員会を構成し、第13条第7項に掲げる事項を審議する。

4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員(以下「委員等」という。)の任期は、委嘱及び選任されたときから準備委員会の目的が達成されたときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その委員等は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。

3 会長は、前2項の規定により委員等の変更があった場合は、次の総会において報告する。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に顧問及び参与を置くことができる。

2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。

3 顧問は、会務の重要な事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

(報酬)

第10条 会長、委員、監事、顧問及び参与の報酬は、無報酬とする。

第3章 会議

(会議の種類)

第11条 準備委員会に、次の会議を置く。

(1) 総会

(2) 常任委員会

(3) 専門委員会

(総会)

第12条 総会は、会長及び委員をもって構成する。

2 総会は、必要に応じて会長が招集する。

3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれにあたる。

4 総会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。

(1) 大会の開催に必要な方針に関すること。

(2) 会則の制定及び改廃に関すること。

(3) 事業計画及び事業報告に関すること。

(4) 予算及び決算に関すること。

(5) 常任委員会に委任する事項に関すること。

(6) その他重要な事項に関すること。

- 5 総会は、委員の過半数の出席がなければ開会し、議決することはできない。ただし、総会に出席できない委員は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 総会の議事は、出席委員(代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。)の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問及び参与に総会への出席を求めることができる。

(常任委員会)

第13条 常任委員会は、委員長、副委員長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長は、会長をもって充てる。
- 3 副委員長は、副会長をもって充てる。
- 4 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 5 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれにあたる。
- 6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した者がその職務を代理する。
- 7 常任委員会は、次に掲げる事項について審議・決定し、その結果を必要に応じて次の総会に報告する。

(1) 総会から委任された事項に関すること。

(2) 専門委員会の設置及び専門委員会への付託事項及び委任事項に関すること。

(3) 総会を招集するいとまがない緊急な事項に関すること。

(4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。

8 前条第5項及び第6項の規定は、常任委員会において準用する。

9 第8条の規定は、常任委員の任期等について準用する。

(専門委員会)

第14条 専門委員会は、会長が委嘱する専門委員をもって構成する。

- 2 専門委員会は、常任委員会から付託又は委任された事項について調査・審議し、その結果を常任委員会に報告する。
- 3 前2項に定めるもののほか、専門委員会に関し必要な事項は、常任委員会に諮り、会長が別に定める。
- 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

第15条 会長は、総会及び常任委員会(以下「総会等」という。)を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で軽易なものについては、これを専決処分することができる。

- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

第16条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 財務及び会計

(経費)

第17条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第18条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算については、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第19条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 準備委員会の財務及び会計に関し必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(解散)

第21条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたとき、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

附 則

(施行期日)

1 この会則は、平成29年10月30日から施行する。

(経過措置)

2 準備委員会の平成29年度における会計年度は、第19条第1項の規定にかかわらず、前項に定める日から、平成30年3月31日までとする。

附 則

この会則は、令和元年7月1日から施行する。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1 基本方針

宮崎県は、温暖な気候や恵まれた自然、快適なスポーツ環境を生かしたスポーツチームのキャンプや合宿を通して、多くの選手や観光客が訪れるなど、スポーツが地域振興の大きな柱となっています。

第 8 1 回国民スポーツ大会及び第 2 6 回全国障害者スポーツ大会は、「スポーツの持つ力と可能性」により、広く県民に元気・勇気・感動を与え、県民総参加型による“おもてなしの心”あふれる大会を目指します。

この大会の開催を契機として、競技力の向上や地域スポーツの普及・振興を図り、県民の健康増進や生きがいづくりに取り組むとともに、障がい者に対する理解を深め、障がい者の社会参加を進めます。

また、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信するとともに「スポーツランドみやざき」の全県展開など、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

2 実施目標

(1) 「チームみやざき」で創りあげる大会

スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、県民がそれぞれの立場で大会に関わり、競技会はもちろん、県民運動や文化プログラム等により、大会の開催機運を盛り上げる県民総参加型の大会を目指します。

(2) スポーツの素晴らしさを体感できる大会

指導者の養成やアスリートの育成など、計画的かつ継続的な競技力の向上を図るとともに、県民一人ひとりがスポーツを通じた健康増進や生きがいづくりに取り組み、スポーツの喜びや楽しさを享受できる大会を目指します。

(3) 宮崎県の魅力を全国に発信する大会

神話や伝統文化、豊かな自然や食に加え、充実したスポーツ環境など、本県の多彩な魅力を全国に向けて発信します。

また、来県する皆様を“おもてなしの心”で温かく迎え、県民とのふれあいや感動の共有による心の絆を深める大会とします。

(4) 「未来のみやざき」づくりを進める大会

大会の開催を契機として、スポーツの拠点づくりや地域活性化、スポーツ文化の醸成、さらには「スポーツランドみやざき」の全県展開などに取り組み、スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりを推進します。

(5) 共に支え合う社会づくりを進める大会

スポーツを通じた交流の拡大や障がい者が主体的にスポーツに取り組む環境の整備を図ることで、障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加を推進するとともに、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会とします。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会委員等一覧

(令和2年7月6日現在)

会 長 (1名)	
知 事	

副 会 長 (8名)	
県議会議長	
副知事 (2名)	
県教育委員会教育長	
(公財) 県スポーツ協会会長	
県市長会会長	
県町村会会長	
県障がい者スポーツ協会会長	

顧 問 (6名)	
国会議員	衆議院議員 (4名)
国会議員	参議院議員 (2名)

参 与 (54名)	
県 議 会	県議会議員 (32名)
教育委員会	県教育委員会委員 (5名)
報 道	(株) 朝日新聞社宮崎総局長、(株) 毎日新聞社宮崎支局長、(株) 読売新聞社西部本社宮崎支局長、(株) 西日本新聞社宮崎支局長
	(株) 南日本新聞社宮崎支局長、(株) 日本経済新聞社宮崎支局長、(一社) 共同通信社宮崎支局長、(株) 時事通信社宮崎支局長、(株) 宮崎日日新聞社代表取締役社長
	(株) 夕刊デリー新聞社代表取締役社長、日本放送協会宮崎放送局長、(株) 宮崎放送代表取締役社長、(株) テレビ宮崎代表取締役社長
	(株) エフエム宮崎代表取締役社長、(株) ケーブルメディアワイワイ代表取締役社長、宮崎ケーブルテレビ株式会社代表取締役社長、BTV株式会社代表取締役

県議会 (6名)	
副議長	○
総務政策常任委員会委員長	○
厚生常任委員会委員長	○
商工建設常任委員会委員長	○
環境農林水産常任委員会委員長	○
文教警察企業常任委員会委員長	○

学校関係 (23名)	
県立学校長協会会長	○
県特別支援学校長会会長	○
県中学校校長会会長	○
県小学校校長会会長	○
県私立中学高等学校協会会長	○
県高等学校体育連盟会長	○
県中学校体育連盟会長	○
県小学校体育連盟会長	○
県内各9大学学長	
(独法) 都城工業高等専門学校校長	
(一社) 県専修学校各種学校連合会会長	
県国公立幼稚園・こども園長協会会長	
県幼稚園連合会会長	
(一社) 県保育連盟連合会理事長	
県認定こども園協会会長	

スポーツ (63名)	
(公財) 県スポーツ協会4副会長	○
県スポーツ推進審議会会長	○
県スポーツ推進委員協議会会長	○
県レクリエーション協会会長	○
県障がい者スポーツ協会フェリスソフトスポーツレク	○
県障がい者スポーツ指導者協議会会長	
県高等学校野球連盟会長	
県スポーツ少年団本部長	
県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長	
県各競技団体51団体の長	

県 (14名)	
総合政策部長	○
総務部長	○
危機管理統括監	○
福祉保健部長	○
環境森林部長	○
商工観光労働部長	○
農政水産部長	○
県土整備部長	○
県警察本部長	○
県教育庁副教育長	○
企業局長	
病院局長	
県議会事務局長	
東京事務所長	

産業・経済 (14名)	
(一社) 県商工会議所連合会会頭	○
県商工会連合会会長	○
県中小企業団体中央会会長	○
県経営者協会会長	○
宮崎経済同友会代表幹事	○
(公社) 日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会会長	○
(一社) 県銀行協会代表理事	
県信用金庫協会会長	
県農業協同組合中央会会長	
県経済農業協同組合連合会代表理事会長	
県森林組合連合会代表理事会長	
県漁業協同組合連合会代表理事会長	
(一社) 県建設業協会会長	
九州電力株式会社宮崎支店長	

宿泊・衛生・観光 (6名)	
(公財) 宮崎観光協会会長	○
(公社) 県食品衛生協会会長	
(公社) 県栄養士会会長	
(一社) 全国旅行業協会宮崎県支部支部長	
(一社) 日本旅行業協会宮崎県地区委員会委員長	
県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長	

市町村 (30名)	
県市議会議長会会長	○
県町村議会議長会会長	○
県市町村教育委員会連合会会長	○
県市町村教育長連絡協議会会長	○
26市町村長	

通信・輸送 (11名)	
(一社) 県バス協会会長	○
西日本電信電話株式会社宮崎支店長	
KDDI株式会社コンシューマ九州支所第5支店長	
日本航空株式会社宮崎支店長	
全日本空輸株式会社宮崎支店長	
株式会社ソラシドエア営業本部宮崎本店長	
九州旅客鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部部長	
西日本高速道路株式会社九州支社宮崎高速道路事務所所長	
(一社) 県タクシー協会会長	
(一社) 県トラック協会会長	
宮崎カーフェリー株式会社代表取締役社長	

医療・福祉 (12名)	
(公社) 県医師会会長	○
(社福) 県社会福祉協議会会長	○
(一社) 県歯科医師会会長	
(一社) 県薬剤師会会長	
(公社) 県看護協会会長	
日本赤十字社宮崎県支部支部長	
(一社) 県身体障害者団体連合会会長	
(一社) 県手をつなぐ育成会会長	
県精神保健福祉連絡協議会会長	
(公財) 県視覚障害者福祉協会理事長	
(社福) 県聴覚障害者協会理事長	
県知的障害者施設協議会会長	

国 (5名)	
国土交通省九州運輸局宮崎運輸支局長	
国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所長	
宮崎海上保安部長	
宮崎地方気象台長	
自衛隊宮崎地方協力本部長	

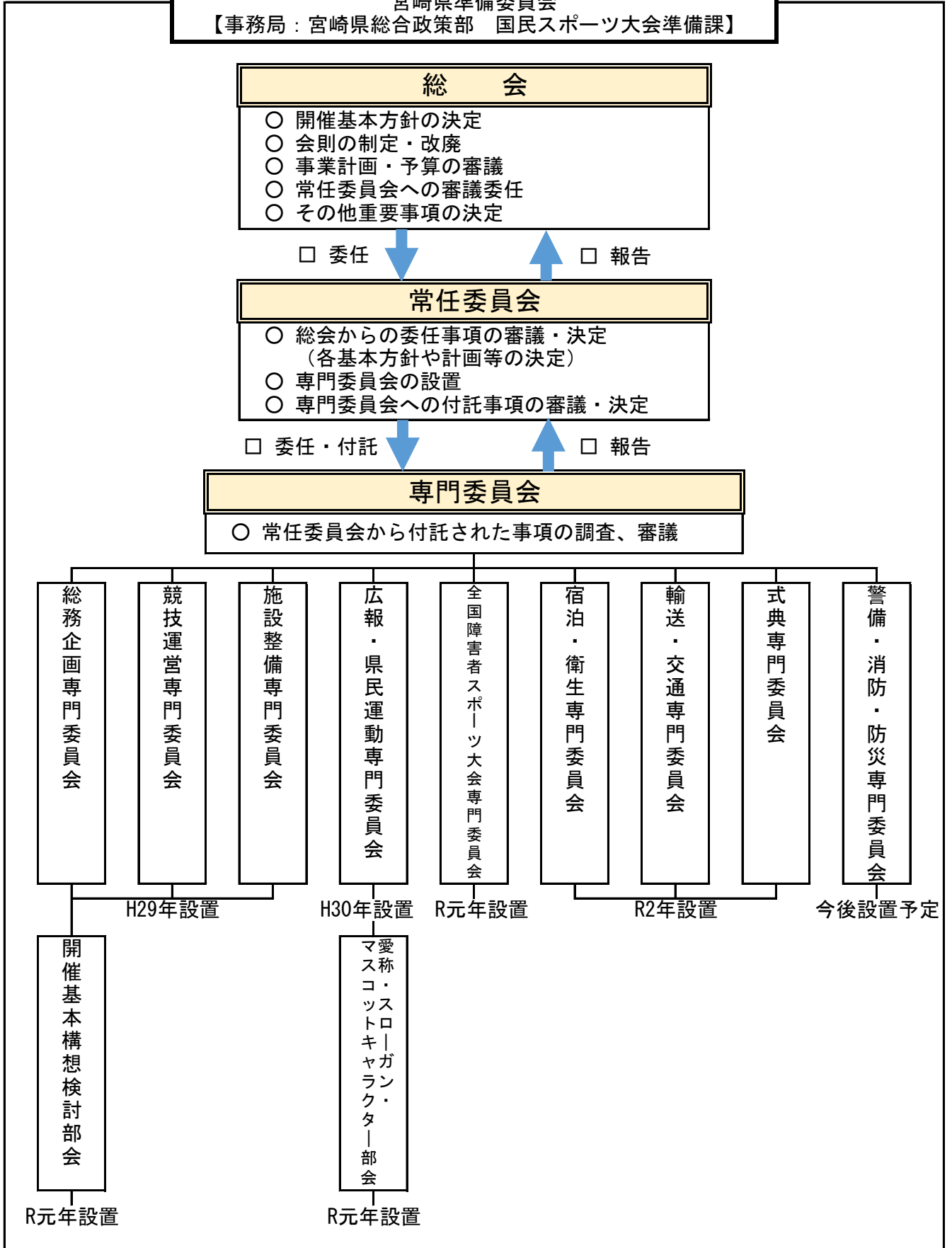
監 事 (3名)	
県会計管理者	
県市長会事務局長	
県町村会事務局長	

社会教育 (13名)	
県地域婦人連絡協議会会長	○
県PTA連合会会長	
県高等学校PTA連合会会長	
県幼稚園PTA連合会会長	
県私立中学高等学校保護者会連合会会長	
日本ボーイスカウト宮崎連盟理事長	
(一社) ガールスカウト県連盟連盟長	
(公財) 県老人クラブ連合会会長	
(公社) 県青少年育成県民会会長	
(一社) 県子ども育成連絡協議会代表理事会長	
(公社) 県緑化推進機構理事長	
県公民館連合会会長	
(公財) 県国際交流協会会長	

○印は、常任委員 (47名)

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会 構成図

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
宮崎県準備委員会
【事務局：宮崎県総合政策部 国民スポーツ大会準備課】



第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 宮崎県準備委員会専門委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会則第14条第3項の規定に基づき、専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員会の種類等)

第2条 委員会の種類並びに常任委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 委員会に次の役員を置く。

(1) 委員長 1名

(2) 副委員長 1名

2 委員長及び副委員長は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会会長(以下「会長」という。)が委嘱する。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 委員会は、必要に応じて委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(部会)

第5条 委員会は、運営上必要があるときは、部会を設けることができる。

2 部会の委員は、会長が委嘱する。

3 部会に関する事項は、委員長が定める。

(委任)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会長の承認を得て別に定める。

附 則

この規程は、平成29年10月30日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年7月9日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年7月6日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年2月15日から施行する。

別表（第2条関係）

委員会名	付託事項	委任事項
総務企画専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の立案に関すること。 2 会場地選定に関すること（デモンストレーションスポーツ、オープン競技を除く）。 3 県及び会場地市町村の業務分担に関すること。 4 他の専門委員会に属さない重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 総合的な計画の推進に関すること。 2 文化プログラムに関すること。 3 他の専門委員会に属さない事項に関すること。
競技運営専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技運営等の基本的事項に関すること。 2 競技運営に係る計画の立案に関すること。 3 競技用具の整備計画の事項に関すること。 4 デモンストレーションスポーツの実施競技及び会場地市町村の選定に関すること。 5 その他の競技運営に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技運営に係る計画の推進に関すること。 2 競技役員等の養成及び編成に関すること。 3 競技用具整備の推進に関すること。 4 デモンストレーションスポーツに関すること（実施競技及び会場地市町村選定を除く）。 5 リハーサル大会に関すること。 6 競技記録に関すること。 7 その他競技運営に関すること。
施設整備専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技施設及び関連施設の基本的事項に関すること。 2 開・閉会式会場及び関連施設整備の基本的事項に関すること。 3 情報通信施設の基本的事項に関すること。 4 その他施設に係る重要事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 競技施設及び関連施設の調査、調整等に関すること。 2 開・閉会式会場及び関連施設の調査、調整等に関すること。 3 情報通信施設の調査、調整等に関すること。 4 その他施設に係る調査、調整等に関すること。
広報・県民運動 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報の基本的事項に関すること。 2 県民運動の基本的事項に関すること。 3 その他広報及び県民運動に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 広報及び啓発の実施に関すること。 2 県民運動の推進に関すること。 3 愛称・スローガン、マスコット等に関すること。 4 報道機関との調整に関すること。 5 記録映像及び記録写真に関すること。 6 その他広報及び県民運動に関すること。
全国障害者 スポーツ大会 専門委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国障害者スポーツ大会の競技運営に係る計画の立案に関すること。 2 オープン競技の実施競技及び会場地市町村の選定に関すること。 3 その他全国障害者スポーツ大会に係る重要な事項に関すること。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 全国障害者スポーツ大会の競技運営に係る計画の推進に関すること。 2 その他全国障害者スポーツ大会に関すること（他の専門委員会の委任事項は除く）。

委員会名	付託事項	委任事項
宿泊・衛生 専門委員会	1 宿泊の基本的事項に関する事 2 医事・衛生の基本的事項に関する 3 その他宿泊及び医事・衛生に係る 重要な事項に関する事。	1 宿泊業務に関する事。 2 標準献立及び食品調達に関する事 3 医療救護及び防疫に関する事。 4 食品衛生及び環境衛生に関する事 5 馬事衛生に関する事。 6 その他宿泊及び医事衛生に関する 事。
輸送・交通 専門委員会	1 輸送及び交通の基本的事項に関する 2 その他輸送・交通に係る重要な事 項に関する事。	1 全国輸送に関する事。 2 開・閉会式の輸送に関する事。 3 競技会場の輸送に関する事。 4 その他輸送及び交通に関する事。
式典専門委員会	1 式典の基本的事項に関する事。 2 その他式典に係る重要な事項に関 すること。	1 開・閉会式の企画及び運営に関す ること。 2 式典音楽に関する事。 3 式典演技に関する事。 4 大会旗・炬火リレーに関する事 と。 5 その他式典に関する事。

参考資料(1)

先催大会（愛媛・福井・茨城）での宿泊・衛生業務の概要

1 先催大会での宿泊状況（配宿決定時の延べ人数）

単位：人・延べ人数

回(開催年)	開催県	国民体育大会		全国障害者 スポーツ大会	合計
		会期前競技	本大会競技		
72(2017)	愛媛県	14,985	155,318	28,666	198,969
73(2018)	福井県	24,039	142,077	26,439	192,555
74(2019)	茨城県	18,189	146,680	台風接近によ り中止	
平均		19,071	148,025	27,552	195,762

※ 国民体育大会（以下、「国体」という。）及び全国障害者スポーツ大会（以下、「障スポ」という。）の配宿対象者は、選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者



< 歓迎のぼり（茨城） >



< 歓迎グッズ（愛媛） >



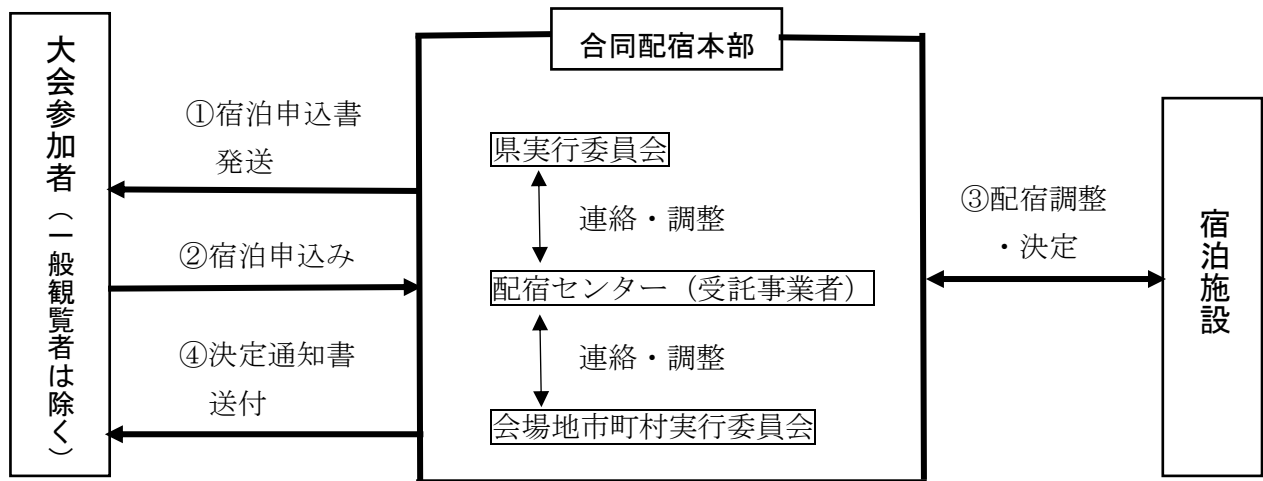
< 輸送バス案内図（茨城） >



< 観光パンフレット等（福井） >

2 配宿業務に関する状況

<国スポ合同配宿方式イメージ図>

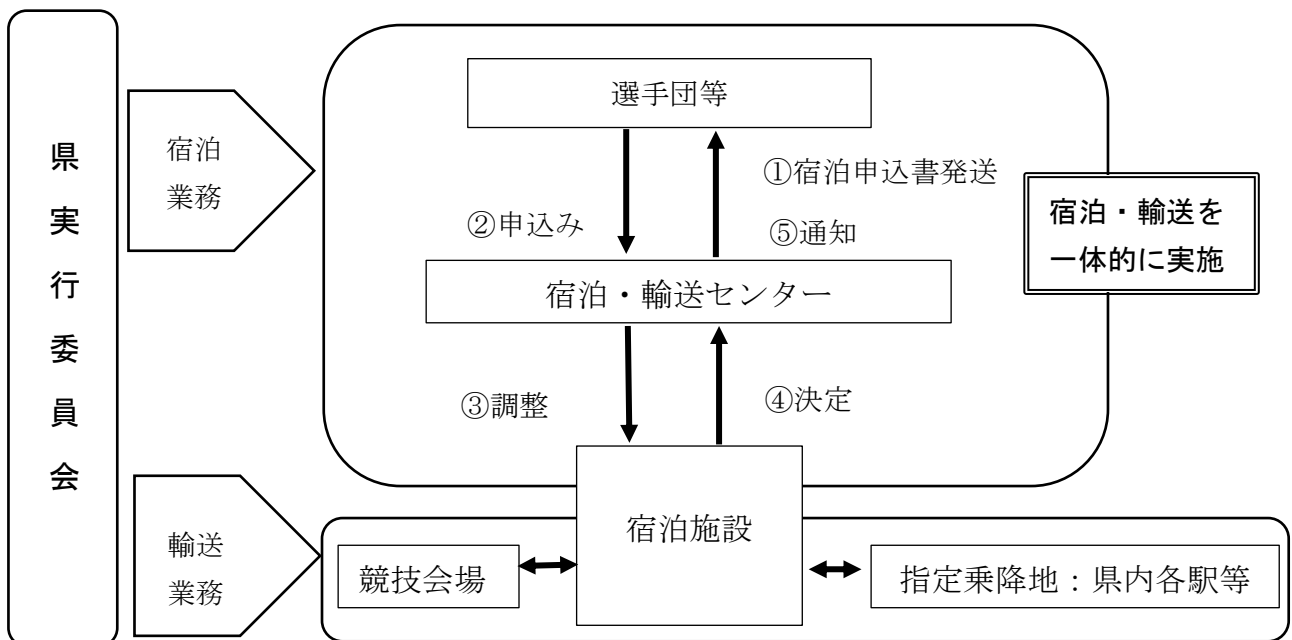


※ 多様な配宿業務を的確かつ効率的に処理するため、県と会場地市町村が合同で設置した合同配宿本部において、宿舍情報を一元的に管理し、一括して配宿を行う「合同配宿方式」で業務を実施（愛媛、福井、茨城の3県が本方式でを採用）。

※ 各競技会における選手・監督及び役員の配宿は、会場地市町村が実施。

ただし、会場地市町村の旅館のみで参加者の収容が困難で、近隣市町村の旅館等に配宿する場合（広域配宿）及び選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町村が協議して実施

<障スポ宿泊・輸送業務イメージ図>



※ 配宿については県が実施。

※ 計画の策定、情報処理等の一連の業務を円滑かつ効率的に行うため、宿泊・輸送業務を一体的に実施（愛媛、福井、茨城の3県が本方式を採用）。

※ 輸送業務については、輸送・交通専門委員会と連携して検討・協議する。

3 国体・障スポに係る弁当発注状況

単位：個

	日 程	愛媛県 発注数	福井県 発注数	茨城県 発注数	平 均
国 体	式典リハ	6,480	4,875	6,220	5,858
	総合開会式	13,509	12,215	12,852	12,858
	総合閉会式	4,591	4,135	3,895	4,207
	合 計	24,580	21,225	22,967	22,924

※ 競技会場は、会場地市町村が対応

単位：個

	日 程	愛媛県 発注数	福井県 発注数	茨城県 発注数	平 均
障 ス ポ	式典リハ	4,408	3,075	3,250	3,577
	公式練習	9,232	7,569	8,573	8,458
	開会式	19,320	11,125	12,364	14,269
	競技会	13,060	21,163	17,982	17,401
	閉会式	12,906	8,020	8,884	9,936
	合 計	58,926	50,952	51,053	53,643



<福井国体・障スポの式典弁当>



<茨城国体・障スポの式典弁当>

4 救護所における医療スタッフ配置状況（延べ人数）

回 (開催年)	開催県	区分	医師・ 歯科医師	看護師	保健師	アスレチック トレーナー	合計
72(2017)	愛媛県	国体	269	436	366	52	1,123
		障スポ	70	117	50	0	237
		総計	339	553	416	52	1,360
73(2018)	福井県	国体	202	390	353	35	980
		障スポ	78	82	37	0	197
		総計	280	472	390	35	1,177
74(2019)	茨城県	国体	206	239	456	25	926
		障スポ	63	103	93	0	259
		総計	269	342	549	25	1,185
平均		国体	225	355	391	37	1,008
		障スポ	70	100	60	0	230
		総計	295	455	451	37	1,238



< 救護所(茨城) >



< 医薬品等棚(愛媛) >



< 救護所内のベッド(福井) >



< 移動救護班(茨城) >



<待機救急車(茨城)>



<医師待機所(福井)>



<ゴミ収集活動(茨城)>



<ゴミ箱設置(福井)>



<衛生講習会(愛媛)>



<手洗い励行を呼びかけるポスター(福井)>

5 馬事衛生業務に係る畜産系職員動員数

単位：人

開催県		日程	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
			競技											片付け	移動
			移動	消毒	準備	入厩	入厩	入厩	退厩	退厩	退厩	退厩	退厩		
2017年 愛媛県	兵庫県 三木市 (県外)	獣医職	4	9	18	18	18	26	25	12	13	13	12	12	4
		一般職	0	2	17	17	17	17	18	6	15	15	15	15	1
		合計	4	11	35	35	35	43	43	18	28	28	27	27	5
2018年 福井県	静岡県 御殿場市 (県外)	獣医職	1	6	12	11	11	11	11	11	11	11	11	12	0
		一般職	1	4	24	25	25	25	25	21	20	20	20	19	1
		合計	2	10	36	36	36	36	36	32	31	31	31	31	1
2019年 茨城県	那珂市 (県内)	獣医職	37名												
		一般職	9名（畜産職等6名、事務職3名）												
		合計	46名												

※補足事項

- ・愛媛県・・・同会場で県外開催を実施した和歌山国体を参考にほぼ同数を動員。常駐者、班長以外は交代勤務。
- ・福井県・・・県外開催を実施した和歌山・愛媛を参考に動員計画を作成したが、派遣数を抑えることとなり、獣医師が従事する業務を整理。東京国体を参考に12名（うち1名は副本部長）の獣医師と畜産課系職員25名を動員。全職員約10日間連続勤務。
- ・茨城県・・・自県開催した第71回岩手国体を参考に動員（獣医師約25名、一般職員20名）をお願いした。最終的には予定より多くの獣医師の動員があり、協力いただいた。



<消毒作業（茨城）>



<入厩時の消毒（福井）>



<馬事衛生本部（愛媛）>



<馬体検査（福井）>

国民体育大会開催基準要項に準ずる宿泊・衛生関係の手続きについて

1 宿泊料金の決定について

35 宿 舎

- (1) 大会参加者及び視察員並びに報道員の宿舎は、開催県（会場地市町村も含む）実行委員会が準備する。
- (2) 競技別参加者の宿舎は、環境等を配慮の上、競技実施会場の周辺に選定する。
- (3) 宿舎は、ホテル、旅館及び民宿を原則とする。
- (4) 1人の宿泊に要する広さは、3.3㎡（2畳）以上とする。
- (5) 配宿は、開催県（会場地市町村も含む）実行委員会が行う。
- (6) 宿泊料金は、大会開催2年前に開催県実行委員会と協議の上、日本スポーツ協会において決定する。
- (7) 公開競技については、当該中央競技団体が準備・手配する。

（国民体育大会開催基準要項より一部抜粋）

2 宿泊要項、医療救護要項の決定について

25 開催県実行委員会及び会場地市町村実行委員会

- (4) 開催県実行委員会は、下記の事項については日本スポーツ協会と協議し、承認を得なければならない。
①・・・⑨宿泊・交通及び医療要項

（国民体育大会開催基準要項より一部抜粋）

宿泊・衛生専門委員会で策定する主な計画(案)

基本方針	<p>宿泊基本方針</p>		<p>医事・衛生基本方針</p>	
基本計画	<p>宿泊基本計画</p>		<p>医事・衛生基本計画</p>	
	<p>部会設置要綱</p>			
	<p>宿泊部会</p>	<p>献立・弁当部会</p>	<p>医事・衛生部会</p>	<p>馬事衛生部会</p>
要項	<p>宿泊施設充足対策要項</p> <p>宿泊要項(国スポ・障スポ)</p>	<p>弁当調達要項</p>	<p>医療救護要項(国スポ・障スポ)</p> <p>防疫対策要項</p> <p>食品衛生対策要項</p> <p>環境衛生対策要項</p>	<p>馬事衛生対策要項</p>
要領	<p>宿泊業務実施要領</p>		<p>医療救護実施要領</p> <p>飲料水衛生対策実施要領</p> <p>感染症予防対策実施要領</p> <p>宿舍衛生対策実施要領</p> <p>食品衛生対策実施要領</p>	<p>馬事衛生対策実施要領</p>
その他	<p>宿泊料金</p> <p>合同配宿実施方針</p>	<p>標準献立作成方針</p> <p>弁当調製施設選定基準</p>	<p>会場地市町村医療救護業務推進指針</p>	

宿泊及び献立・弁当業務 開催年までのイメージ図

細目	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)	2026年(R8)	2027年(R9)
	開催7年前	開催6年前	開催5年前 (開催内定)	開催4年前	開催3年前 (開催決定)	開催2年前	開催1年前	開催年
開催地	三重		栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎
会議	宿泊・衛生 専門委員会設置		宿泊部会設置		献立・弁当部会設置			
	第1回専門委員会	第2回専門委員会	第3回専門委員会	第4回専門委員会	第5回専門委員会	第6回専門委員会	第7回専門委員会	第8回専門委員会
全体計画	宿泊基本方針	宿泊基本計画	部会設置要綱			宿泊要項(本県案) → 日スポ協議・承認 → 宿泊要項決定	報道員宿泊規程 宿泊業務実施要領	宿泊本部設置
宿泊	宿泊料金				宿泊料金調査(委託) → 宿泊料金(本県案)	宿泊料金日スポ協決定 (日スポ協調整・協議・決定)		
	施設調査		宿泊施設等実態調査 (基礎調査)			宿泊施設等実態調査 (第1次) → 宿泊施設等実態調査 (第2次)		
	配宿計画			仮配宿(1次) 転用施設調査 民泊意向調査	配宿システム検討・決定 配宿業務委託検討 合同配宿実施方針	仮配宿(2次) → 仮配宿(3次) → 本配宿	配宿業務委託 宿泊意向調査(1次) → 宿泊意向調査(最終)	
	宿泊施設不足対策			宿泊施設充足対策要項	広域配宿検討 転用施設検討 民泊実施の検討	県内宿泊施設・客室数確保 県外配宿依頼	転用施設の決定 民泊協力者の決定	・配宿表 ・宿泊申込書 ・宿舎名簿等 ・宿舎のしおり ・接遇講習会実施 等
献立・弁当	標準献立				標準献立作成方針	標準献立普及実施要領 標準献立原案	標準献立集作成 標準献立普及講習会 標準献立パンフレット	
	弁当			弁当需要見込数等調査	弁当調達要項	弁当調製施設選定基準	開・閉会式 弁当業者指定	開・閉会式 弁当調達

6

宿泊

献立・
弁当

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

医事・衛生及び馬事衛生業務 開催年までのイメージ図

細目	2020年(R2)	2021年(R3)	2022年(R4)	2023年(R5)	2024年(R6)	2025年(R7)	2026年(R8)	2027年(R9)
	開催7年前	開催6年前	開催5年前 (開催内定)	開催4年前	開催3年前 (開催決定)	開催2年前	開催1年前	開催年
開催地		三重	栃木	鹿児島	佐賀	滋賀	青森	宮崎
会議	宿泊・衛生 専門委員会設置		医事・衛生部会設置	馬事衛生部会設置				
	第1回専門委員会	第2回専門委員会	第3回専門委員会	第4回専門委員会	第5回専門委員会	第6回専門委員会	第7回専門委員会	第8回専門委員会
全体計画	医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画	部会設置要綱					
医事・衛生	医療救護			医療救護要項 (本県案)	医療救護要項	医療救護実施要領	医療救護のしおり作成	救護本部・ 救護所設置
	防疫対策		防疫対策要項		感染症予防対策実施要領		健康管理の励行 衛生思想の普及 感染症予防・まん延防止	健康診断の実施奨励
	食品衛生		食品衛生対策要項		食品衛生対策実施要領		食品取扱施設監視指導 食品衛生講習会実施	
	環境衛生		環境衛生対策要項		飲料水衛生対策実施要領			ごみ・し尿処理 清掃パトロール実施
					宿舎衛生対策実施要領			水道施設の監視・指導 水質検査実施
馬事衛生				馬事衛生対策要項	馬事衛生対策実施要領	馬事衛生本部設置計画	馬事衛生対策本部設置 馬事衛生業務研修会	

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

宿泊基本方針 先催県との比較表

開催県	佐賀県（２０２４年）	滋賀県（２０２５年）	宮崎県（２０２７年）
名称	第 7 8 回国民スポーツ大会 ・第 2 3 回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本方針	第 7 9 回国民スポーツ大会 ・第 2 4 回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本方針	第 8 1 回国民スポーツ大会 ・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 宿泊基本方針（案）
目的	第 7 8 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第 2 3 回全国障害者スポーツ大会（以下「全障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「参加者」という。）の宿泊及び食事については、国スポ及び全障スポ（以下「大会」という。）の参加者がそれぞれの分野で十分な活躍ができるよう、次の基本方針に基づき提供するとともに、来県される方々を心温まるおもてなしでお迎えすることで、佐賀の魅力为全国へ発信する。	第 7 9 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第 2 4 回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、その他の関係者（以下「参加者」という。）の宿泊および食事の提供については、第 7 9 回国民スポーツ大会・第 2 4 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により行うものとする。	第 8 1 回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第 2 6 回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者（以下「参加者」という。）の宿泊及び食事については、国スポ及び障スポ（以下「大会」という。）の参加者がそれぞれの分野で十分な活躍ができるよう、 おもてなしの心で温かく迎えるとともに、宮崎の多彩な魅力を全国へ発信するため、次の方針に基づき実施する。
宿泊	(1) 大会参加者の宿舎は、原則として会場地市町内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。 (2) 会場地市町内の旅館で大会参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議の上、公共施設、寮、保健所、寺院、民家および近隣市町（原則として県内）の旅館等を利用することで、より多くの施設の確保に努める。 (3) 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。	(1) 参加者の宿舎は、原則として、会場地市町内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテルおよび簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。 (2) 会場地市町内の旅館で参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議のうえ、公共施設、寮、保健所、寺院、民家等および近隣市町の旅館等を利用する。 (3) 風紀上、衛生上または安全対策上の理由により、支障があると認められる施設は利用しない。	(1) 参加者の宿舎は、原則として会場地市町村内の旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）を利用する。 (2) 会場地市町村内の旅館で参加者の収容が困難な場合は、その地域の実情に応じ、関係機関・団体等と協議の上、公共施設、寮、保健所、寺院、民家及び近隣市町村（原則として県内）の旅館等を利用する。 (3) 風紀上、衛生上及び安全対策上等の理由により、支障があると認められる施設は宿舎として利用しない。
配宿	(1) 国スポにおける選手・監督及び競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は、競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し、会場地市町が行う。 ただし、近隣市町（原則として県内）の旅館等に配宿する場合及び選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町が協議して行う。 全障スポ参加者の配宿については、県が行う。 (2) 大会の選手・監督の宿舎は、都道府県別、競技別、競技種別及び男女別を考慮して配宿する。 (3) 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。 (4) 全障スポの選手・監督においては、利用しやすい宿泊施設に配宿するよう努める。	(1) 国スポにおける選手・監督および競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は、会場地市町が行う。 ただし、近隣市町の旅館等に配宿する場合および選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町が協議したうえで行う。 大会参加者の配宿については県が行う。 (2) 選手、監督の配宿は、十分な休養、休息を確保できる環境づくりを行うため以下のことに配慮して行う。 ①都道府県別、競技別、競技種別および男女別を考慮する。 ②大会の選手・監督については、障害特性を配慮する。 ③競技会場および練習会場までの交通状況を考慮する。 ④役員、視察員、報道員等の宿舎は、選手・監督とは別にする。	(1) 国スポにおける選手・監督及び競技会に関わる役員（以下「選手・監督等」という。）の配宿は、競技会場及び練習会場までの交通状況等を考慮し、会場地市町村が行う。 ただし、近隣市町村（原則として県内）の旅館等に配宿する場合及び選手・監督等を除く参加者の配宿は、県と会場地市町村が協議して行う。 障スポ参加者の配宿については、県が行う。 (2) 大会の選手・監督の宿舎は、都道府県別、競技別、競技種別及び男女別を考慮して配宿する。 (3) 役員、視察員、報道員等の宿舎は、原則として、選手・監督の宿舎とは別にする。 (4) 障スポ参加者 にとって、利用しやすい宿泊施設に配宿するよう努める。
宿泊料金	国スポ参加者の宿泊料金は、県と旅館等の関係団体と協議の上、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。 全障スポ参加者の料金は、国スポ宿泊料金を基本とし、県が決定する。	国スポ参加者の宿泊料金は、県準備（実行）委員会および旅館等の関係団体との協議を経て、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。 大会参加者の宿泊料金は、国体宿泊料金を基本とし、県準備（実行）委員会が決定する。	国スポ参加者の宿泊料金は、県準備（実行）委員会及び旅館等の関係団体との協議を経て、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。 障スポ参加者 の料金は、国スポ宿泊料金を基本とし、県準備（実行）委員会が決定する。
食事	大会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、穏やかな気候、豊かな自然に恵まれた佐賀県のような食材を取り入れた郷土色豊かなものを提供することで、食を通じた佐賀らしいおもてなしをする。	参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスがよく、豊かな自然に恵まれた滋賀県産のさまざまな食材を取り入れた郷土色豊かなものを提供する。	参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスに配慮するとともに、 温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎県ならではの多彩な食文化と新鮮な農林水産物を生かした郷土色豊かなものを提供 する。

医事・衛生基本方針 先催県との比較表

開催県	佐賀県（２０２４年）	滋賀県（２０２５年）	宮崎県（２０２７年）
名称	第７８回国民スポーツ大会 ・第２３回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針	第７９回国民スポーツ大会 ・第２４回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針	第８１回国民スポーツ大会 ・第２６回全国障害者スポーツ大会 医事・衛生基本方針(案)
目的	第７８回国民スポーツ大会及び第２３回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者」という。）の医事・衛生については、関係機関、団体等の協力を得て、清潔で快適な環境の下で十分な活躍と観覧ができるよう、次の基本方針に基づき実施するとともに、誰もが安心して大会を楽しむことができる環境をつくる。	第７９回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）および第２４回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員、その他の関係者および一般観覧者（以下「参加者」という。）の医事・衛生については、第７９回国民スポーツ大会・第２４回全国障害者スポーツ大会開催基本方針に基づき、参加者等が、清潔で快適な環境のもとで十分な活躍や観覧等ができるよう、次の方針により行うものとする。	第８１回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）及び第２６回全国障害者スポーツ大会（以下「障スポ」という。）に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「参加者」という。）の医事・衛生については、関係機関・団体等の協力を得て、清潔で快適な環境の下で十分な活躍と観覧ができるよう、次の基本方針に基づき実施する。
医療救護	応急処置及び医療機関への移送等に必要な医療救護体制を整え、大会参加者等の傷病の発生状況に応じ、速やかかつ適切な医療救護を実施する。	参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置および医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。	参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。
防疫	防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図り、大会参加者等の感染症の発生を予防及びそのまん延を防止する。	参加者等の感染症の発生を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫対策を整えるとともに、防疫に関する知識の普及および意識の一層の啓発を図る。	参加者等の感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫体制を整えるとともに、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。
食品衛生	食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図り、大会参加者等の食の安全・安心を確保する。	参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、宿舎および食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及および意識の一層の啓発を図る。	参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、宿舎及び食品取扱施設等の監視、指導を行うとともに、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。
環境衛生	宿舎の衛生対策、廃棄物の適正な処理、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策、動物の適正管理等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の向上を図り、大会参加者等に清潔で快適な環境を提供する。	参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等はもとより、広く県民の協力を得て、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正処理・発生抑制・リサイクルの推進、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及および意識の一層の啓発を図る。	参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等はもとより、広く県民の協力を得て、宿舎の衛生対策、廃棄物の適正な処理・発生抑制・リサイクルの推進、衛生害虫等の駆除、飲料水の衛生対策、動物の適正管理等に努めるとともに、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。
馬事衛生	馬術競技出場馬に対し、必要な防疫措置を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対処できる診療体制を整え、馬術競技を円滑に運営する。	国スポの馬術競技出場馬の健康保持のため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。	馬術競技出場馬の健康保持のため、関係機関・団体等の協力を得て、必要な防疫措置等を行い、伝染病の発生防止に努めるとともに、傷病の発生に速やかに対応できる診療体制を整える。